

越谷市新庁舎建設基本設計 市民ワークショップ報告書

～越谷市民の安全・安心な暮らしを支える 親しみのある庁舎づくりのために～



平成29年10月

越谷市新庁舎建設基本設計市民ワークショップを終えて

越谷市役所本庁舎は、昭和 44 年に建設され 48 年を迎えています。

2011 年に東日本大震災が、2016 年には熊本地震が発生するなど近年大規模災害が相次いでいます。本庁舎は耐震診断の結果、大規模地震が発生した場合には倒壊または崩壊する危険性を指摘されています。このような状況の中で新庁舎の建設は急務であると言えます。

2013 年に「越谷市本庁舎整備審議会」が設置され、会長として 2014 年に「越谷市本庁舎整備基本構想（案）」を纏め、市に答申させていただきました。

今回、コーディネーターを務めさせていただいた新庁舎建設基本設計市民ワークショップは、これらの基本計画を踏まえて、多くの市民の方々に参加していただき、「越谷市民の安全・安心な暮らしを支える親しみのある庁舎」の建設に際しての要望や提案をするものです。

ワークショップは 3 回行われ、第 1 回では、5 つのテーマ（建築デザイン等に反映すべき越谷らしさ、市民の利便性、市民協働ゾーン、防災・環境、その他市民ができること等）について、自由に意見交換を行っていただき、第 2 回目では、1 回目に関心の高かった市民の方々が集い、交流の場となる市民協働ゾーンについて、さらに議論を深め意見を集約していただきました。3 回目では、2 回の議論を踏まえた市民協働ゾーンの平面図案を設計事務所から提示してもらい、より具体的な用途と構成について配置を含めて踏み込んだ計画の提案をいただきました。

今回のワークショップの特徴は、参加いただいた方々を A と B の 2 グループにわけ、別々にファシリテーターの助言のもと議論いただいた点にあります。2 グループともに共通した要望・用途や機能もあれば、それぞれのグループで独自の提案もありました。本報告書ではあえてこれを集約せずに掲載することにしました。新庁舎に期待する多様なニーズの表れとして汲み取っていただければ幸いです。

大変熱心にかつ意欲的・積極的に多くの意見を出していただいたワークショップのメンバーに敬意を表すとともに、ワークショップでの要望・提案が新庁舎の計画に反映され、市民にとってより魅力のある、かつ市民が自由に集い・参加を促すシンボルとなる庁舎が建設されることを期待しています。

2017 年 10 月

越谷市新庁舎建設基本設計市民ワークショップコーディネーター
東京電機大学未来科学部長 教授

積田 洋

目次

1	市民ワークショップの概要	1
1-1	趣旨・目的	1
1-2	位置づけと体制	1
2	活動報告	3
2-1	開催経緯	3
2-2	各回検討内容と結果	4
	第1回 越谷市新庁舎建設基本設計市民ワークショップ	6
	第2回 越谷市新庁舎建設基本設計市民ワークショップ	26
	第3回 越谷市新庁舎建設基本設計市民ワークショップ	40
2-3	市民ワークショップで得られた成果	47
3	参考資料	60
3-3	参加者名簿	60
3-2	「新庁舎建設基本設計市民ワークショップ」アンケート集計結果	62

1 市民ワークショップの概要

1-1 趣旨・目的

越谷市新庁舎建設基本設計業務においては、平成28年3月に策定し、同10月に改訂した「越谷市本庁舎建設基本計画」で掲げた(仮称)市民協働ゾーンを含む新庁舎機能導入について、市民ニーズを反映した設計とすることが重要です。

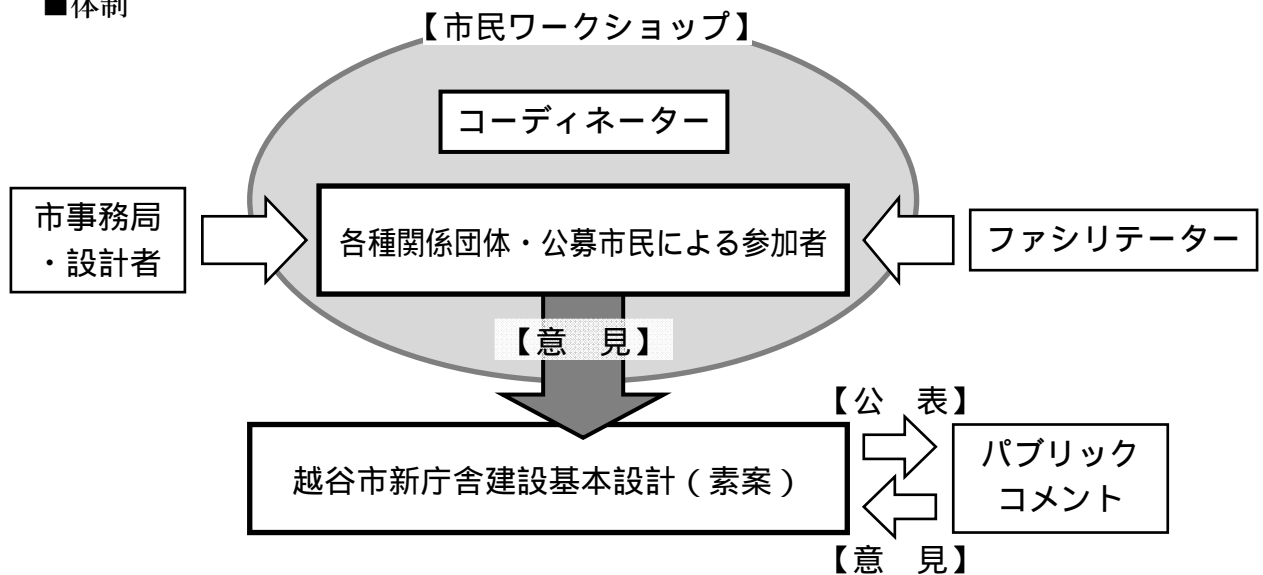
そのため、新庁舎建設の基本設計について、市民の意見を伺う場として開催したものです。

1-2 位置づけと体制

越谷市新庁舎建設基本設計市民ワークショップ(以下、「市民ワークショップ」と言います。)は、新庁舎の建設にあたり、様々な立場の市民の意見を、基本設計の早い段階から伺うための場として位置づけ、公募市民及び各種関係団体からの推薦者に参加していただきました。

公募市民は、より幅広い年代から参加していただくという趣旨から、学生を含む15名程度の市民を、公募したところ、学生4名を含む13名の応募がありました。各種関係団体からは、(仮称)市民協働ゾーンを含む新庁舎に関連が深い11団体へ依頼したところ、16名のご推薦をいただき、合計29名の参加者が決定しました。

■体制



コーディネーター ワークショップの総括、進行役となる。ファシリテーターが進行する作業等に対して、助言や講評を行う。

ファシリテーター 作業等の進行役となる。総合ファシリテーターが、全体の進行を行い、グループファシリテーターが、各グループの作業を進行する。

■公募方法

- 1) 募集人員：15名（一般10名、学生5名）程度
- 2) 参加資格：新庁舎建設に関心のある市民で、第1回から第3回まで継続して参加可能な方
- 3) 募集方法：市公式ホームページ、広報、ポスター掲示
- 4) 申し込み受付期間：平成29年7月3日（月）～平成29年7月14日（金）
- 5) 応募者多数の場合の選出方法：抽選

■各種関係団体への依頼

関連事項	団体名
自治団体	越谷市自治会連合会
市民活動団体	こしがや市民活動連合会
福祉団体	越谷市社会福祉協議会
経済団体	越谷商工会議所
環境団体	越谷市環境推進市民会議
教育団体	越谷市PTA連合会
青少年団体	越谷市子ども会育成連絡協議会
レクリエーション団体	越谷市レクリエーション協会
文化団体	越谷市文化連盟
スポーツ団体	越谷市体育協会
男女共同参画支援センター登録団体	越谷ミズの会

計11団体

2

活動報告

2-1 開催経緯

市民ワークショップは、以下に示すとおり、計3回開催しました。

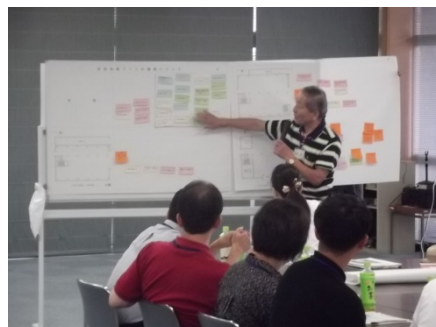
第 1 回 越谷市新庁舎建設基本設計市民ワークショップ

- 開催日時：平成29年8月5日(土) 午後1:30～3:30
- 参加人数：26人
- 主な内容：新庁舎基本設計の具体的検討にあたって、建築デザイン等に反映すべき越谷らしさや市民協働ゾーンなどの各テーマについて、新庁舎のあるべき姿、目標像等を想像しながら、アイデアカードを活用して意見収集を行いました。



第 2 回 越谷市新庁舎建設基本設計市民ワークショップ

- 開催日時：平成29年8月26日(土) 午後1:30～3:40
- 参加人数：24人
- 主な内容：第1回の整理を基に、全員で内容を確認しながら、追加意見を聴取した後、ワークショップの対象テーマを「市民協働ゾーン」に絞り込み、第1回で出された多様なご意見・ご提案の中から、大切にしたいと思う項目を投票方式で抽出を行いました。また、その後、市民協働ゾーンの機能の検討を行いました。



第 3 回 越谷市新庁舎建設基本設計市民ワークショップ

- 開催日時：平成29年9月30日(土) 午後1:30～3:30
- 参加人数：25人
- 主な内容：第2回のまとめを報告し、全員で確認した後、グループごとに、これまでの個別意見の整理を確認するとともに、(仮称)市民協働ゾーンのゾーニング案について、グループディスカッションを行いました。



基本設計への反映検討

2-2 各回検討内容と結果

各回における検討内容及びその結果は次に示すとおりです。

第1回 越谷市新庁舎建設基本設計市民ワークショップ

【主な検討内容】

新庁舎建設基本設計に係るテーマ別提案の聴取と整理

【配付資料】

- 資料 - 1 越谷市新庁舎建設基本設計市民ワークショップについて
 - 資料 - 2 越谷市新庁舎建設に係るこれまでの経緯と計画概要について
 - 資料 - 3 越谷市新庁舎建設基本設計に係る市民ワークショップの進め方について
- 参考資料 越谷市新庁舎建設基本設計市民ワークショップに参加いただくにあたり



【グループ検討内容の発表（Aグループ）】

1. 第1回の開催概要

(1) 主な内容等

開催日時	平成29年8月5日(土) 午後1:30~3:30
会場	越谷市役所本庁舎5階第1委員会室
参加者数	26名
主な内容	(1) 市民ワークショップについて (2) これまでの経緯と計画概要 (3) ワークショップ(テーマ別意見聴取、意見整理、発表) (4) コーディネーター講評

(2) 当日の様様



総合ファシリテーターによる進行



ワークショップの進め方等説明



各グループの意見傾向整理



Aグループの発表



Bグループの発表



コーディネーターの全体講評

2. テーマ

新庁舎基本設計の具体的検討にあたって、以下の各項目についてアイディアカードを活用して意見・提案を出し合いました。

建築デザイン等に反映すべき越谷らしさに対する意見・提案

市民の利便性に対する意見・提案

市民協働ゾーンに対する意見・提案

防災・環境に対する意見・提案

その他の意見・提案（市民ができることなど）

3. 作業の手順

■STEP 1：まずはみんなで意見を出し合いました。

5色のアイディアカードに、各テーマに則した課題や目標、ご意見・ご提案等を具体的に書き出しました。

【あ お】

テーマ1
建築デザイン等に
反映すべき越谷ら
しさに対する意
見・提案

【クリーム】

テーマ2
市民の利便性に
対する意見・提案

【ピンク】

テーマ3
市民協働ゾーン
に対する意見・提
案

【みどり】

テーマ4
防災・環境に対す
る意見・提案

【し ろ】

テーマ5
その他の意見・提案
(市民ができること等)

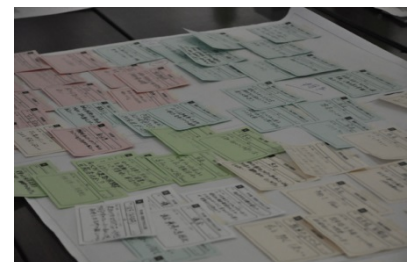
提案等を記入



■STEP 2：出された意見を整理しました。

みなさんから出されたアイディアカードを、同じ意見の仲間をひとまとめにしたり、相互関係をみながら模造紙に整理しました。

意見を整理



■STEP 3：グループの発表者を選出しました。

本日のグループでの意見のまとめの発表者をグループメンバーの中から1名選出しました。



■STEP 4：まとめた成果を発表し共有しました。

各グループでのワークショップの結果について、発表者が代表して発表しました。

発表者を選出し成果を発表



< 第1回ワークショップ作業紙面 >

アイデアカードの整理

Aグループ



Bグループ

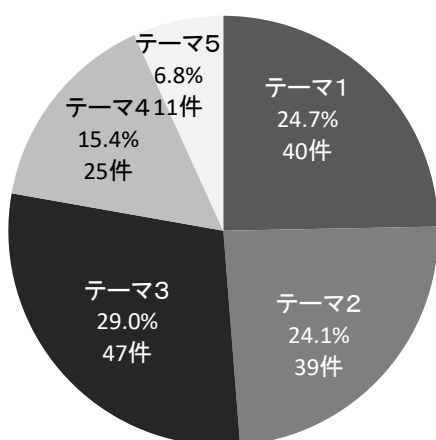


4. 作業の結果

(1) 結果概要

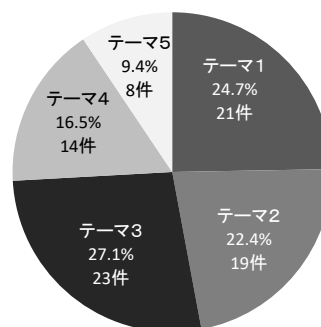
- ・市民ワークショップ全体のご意見・ご提案の総数は、162（Aグループ：85、Bグループ：77）でした。
- ・「テーマ3：市民協働ゾーン」に対するご意見・ご提案が、全体の約3割と最も多くなっており、参加者の関心の高さが伺えます。
- ・次いで、「テーマ1：建築デザイン等に反映すべき越谷らしさ」、「テーマ2：市民の利便性」に対してのご意見・ご提案が、いずれも全体の4分の1程度となっています。
- ・テーマ1については、「越谷市第4次総合振興計画」に掲げられた本市の将来像のキーワードである「水・緑・太陽」のイメージが大切、越谷の伝統・文化や和のデザインの採用、越谷らしい色やモチーフを取り入れるなど、庁舎のデザインに対するご意見・ご提案が最も多くありました。また、整備コストやユニバーサルデザインに関するご意見・ご提案も、比較的多くありました。
- ・テーマ2については、多様なご意見・ご提案がある中、コンシェルジュ等を配置した総合案内等サービスの向上、使いやすい駐車場の確保、開庁時間の延長などが比較的多くありました。
- ・テーマ3については、特に、飲食や物産販売の場の確保や市民活動の場・発信の場としての活用に対するご意見・ご提案が多くあったほか、概して、だれもが気軽に利用でき、快適に憩い・集える場として機能することが求められています。
- ・テーマ4については、防災拠点としての十分な機能確保をはじめ、空調システムや庁舎全体でのCO₂削減など、環境への配慮に対するご意見・ご提案が多くありました。
- ・テーマ5については、協働での維持管理、新庁舎建設に係る情報の発信、現在ある市民活動支援センターとの関係など、ご意見・ご質問等がありました。

【全体】

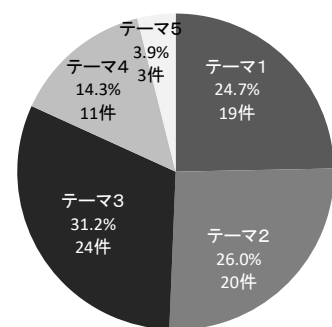


- テーマ1: 建築デザイン等に反映すべき越谷らしさ
- テーマ2: 市民の利便性
- テーマ3: 市民協働ゾーン
- テーマ4: 防災・環境
- テーマ5: その他(市民ができること等)

【Aグループ】



【Bグループ】



- ・Aグループでは、テーマ3に対するご意見・ご提案が約27%と最も多く、次いで、テーマ1、テーマ2の順に多くなっています。
- ・Bグループも、テーマ3に対するご意見・ご提案が約31%と最も多く、次いで、テーマ2、テーマ1の順に多くなっています。

(2) テーマ別グループ別個別意見整理一覧

Aグループ意見数	85件
Bグループ意見数	77件
合計	162件

テーマ1：建築デザイン等に反映すべき越谷らしさ		40	
A グ ル ー プ	①デザイン等について	7	
	-1 水（川、水郷）・緑・太陽のイメージを大切に	3	
	水郷越谷を活かす。		
	緑と水郷のまちならではに、各庁舎に緑を取り入れてほしい。		
	庁舎西側に、西陽対応として緑をとりいれよう。		
	-2 伝統・文化、和のデザインについて	1	
	本庁舎の建設は、最新のデザインの中にも、伝統や文化的デザインを取り入れたい。		
	-3 シンプルなデザイン	1	
	シンプルなデザインに。		
	-4 圧迫感軽減等周辺への配慮	1	
	市庁舎の外観は、圧迫感のないデザインとしてほしい。周辺住宅等に太陽の反射光を押さえることが必要。		
	-5 有効な床面積の使い方	1	
	市民協働ゾーンは、吹き抜けにすると面積が減るので、吹き抜けにしないでください。		
	②ユニバーサルデザイン	4	
	国際化、観光のため、インフォメーションセンターの設置を。		
	案内表示板の国際化を。東京メトロと同じような、日本語、中国語、韓国語の表示板をつくる。		
	フレンドリーな窓口デザインを。各課のカウンターの高さは、市民の利便性を考慮し、高すぎないように。		
	障がい者に対して、バリアフリー化してほしい。		
	③イニシャル・ランニングコストについて	3	
	デザインに費用はかけない。耐震・耐久に費用をかける。		
	今後は人口減なので、経費はおさえる。		
庁舎は、将来の修繕・改修をしやすいものとしたい。			
④葛西用水との関係性について	3		
川と一体的なイメージのデザインを。川と庁舎の間に道路がはさんでおり、一体感を阻害している。道路を越え、川とつながるデッキのような、幅の広い構造物で一体化したい。			
川を感じられる開口部とする。川に面した側の1、2階部の窓などは、高い天井をもち、川側の窓は、前面窓とし、川との一体感を感じられるようにしたい。			
ウェルカムゲートについて、3階つづめけの水辺風景で、開放感を持たせる。ガラスばりて葛西用水が見えるようにする。			
⑤駐車場の有効活用について	2		
建物をより高層にして、駐車スペースを多く造る。駐車スペースは、催し物の会場にするととき有効。			
駐車場スペースを有効活用するため、駐車場を地下にしているどうか。地上スペースは、市民憲章にある「水と緑と太陽に恵まれた豊かな～」を生かした庭園を作る。芝生だけのシンプルなものも可。			
⑥越谷らしい素材	1		
なにか、市内材を活かしたい。内装材を、市内にあるもので活かせるものがないか。久伊豆神社参道の木と同種のもの一部植えるなど。			
⑦その他	1		
建築デザインのわかりやすい事前進行を。「ワークショップの様子を市のHPにのせて、より多くの市民に関心をもってもらう。」と言われたことは素晴らしい。現本庁舎の中に、それらの意見をとりいれると、この様になるという、分かりやすいモデル模型を展示したい。			
Aグループ小計		21	

B グ ル ー プ	①デザインについて	16
	-1 水（川、水郷）・緑・太陽のイメージを大切に	4
	建物の中に、越谷の木を植える。自然が多いイメージがあれば、市民も利用しやすくなると思う。	
	庁舎・建築物について、緑の多い空間に。	
	協働ゾーンの建物デザインについて。越谷は、水と緑と自然溢れる都市だと思うので、自然採光、水、緑の配置によって、明るく開放的で自然あふれるスペースにしてほしいと思う。	
	水と緑と太陽のまち越谷として、水と緑を意識し、隣接する川とウッドデッキを一体化した市役所に。	
	-2 伝統・文化、和のデザインについて	3
	駅前に出来た「ガーヤちゃんの蔵屋敷」と、越谷宿を意識した和のデザインに。	
	庁舎について、しらこぼとをモチーフにしたデザインに。	
	イメージづくりのための資料にある格子は、8F、7Fの上階には不必要。	
	-6 越谷らしい外観的な色彩の統一	3
	本庁舎の色について、本庁舎、第二、第三共に、出来上がりの色を統一する。	
	壁の色を、水郷らしい水色などに。	
	水と緑のまちにふさわしい外観、色使いしてほしい。	
	-7 飲食、喫茶、集いのスペースの確保	3
	市民が集えるホールについて、収容人数300名位のコミセン「ポルティコ」以上の、500名ぐらいで会食できるスペースがほしい。	
	市民の喫茶スペースがほしい。	
	市民が集まり易い、行き易い雰囲気を作って欲しい。	
	-8 建物の集約化	1
	建物をまとめる。第二、第三を取り壊して本庁舎にまとめ、8階建てでなくもっと高くする。倍の15階建てでもよい。	
-9 開かれたエントランスづくり	1	
市民が入りやすいエントランスづくりを。		
-10 採光に配慮	1	
窓について、採光のためのガラス窓（強化ガラスも含めて）は？壁が必要と思う。		
③イニシャル・ランニングコストについて	1	
市民協働ゾーンについて、新庁舎は越谷市の顔となる建物。防災対策で越谷らしきを出すには、35万円/㎡ではいかがなものか。アッパーで45万円/㎡としてはどうか。		
④葛西用水との関係性について	1	
ウッドデッキと市役所の間に道路があり寸断されてしまうため、この道路をなんとかしたい。		
⑤駐車場の有効活用について	1	
イベント広場等にも有効に使える、駐車スペースの配慮を。		
	Bグループ小計	19

テーマ 2：市民の利便性		39
A グ ル ー プ	① コンシェルジュ（案内）、窓口・予約サービス等の向上について	6
	コンシェルジュの充実を。	
	内部各担当課に、総合窓口制度を取り入れて市民の利便性をアップする。	
	窓口機能について、個人的な相談を受け付けられるような個室をとりいれたい。	
	市民病院にボランティア窓口を。多くの会社勤めの方がリタイア先に困っている。ボランティア窓口がより分かりやすくなるような工夫を。(市民課からの流れ)	
	介護や、こどものために、駅前の市民活動支援センターに行っているが、今回新スペースを工夫して、保育園等、市民が来ざるを得ない統一センター機能を持った施設を。	
	窓口接客スペースを。手続き、一般的相談、秘匿性のある相談など、レベルに応じた対応ができるようにしたい。ただの仕切りでは声が聞こえてしまう。	
	② 開庁時間、待ち時間について	2
	庁舎の開閉時間、特に閉庁時間を延長してほしい。例えば21時まで。	
	市庁舎の開閉時間を柔軟にしてほしい。朝窓口7:00～、夜窓口10:00まで(9:00ぐらいでも可)。土日開庁。	
	③ 子育て世代への配慮について	2
	子育て中のママ、パパに、保育士や保育室がほしい。	
	子育てスペース、保育スペースを。	
	④ 食堂（飲食の場）の確保について	2
	食堂、レストランがあったらいいなあ。	
	子ども食堂に利用できる食堂を設置してほしい。	
	⑤ 多言語表示等ユニバーサルデザインについて	1
	全体について、外国の方に表示がすぐわかるような、全てにわたる多言語の提示を。	
	⑥ 会議室の設置について	1
小規模な30人前後が使える会議室を、設置してほしい。		
⑦ 多目的ホールの設置について	1	
防音設備のある多目的ホールを設置してほしい。		
⑧ バス・交通について	1	
利用者に対する安全性について、バス停を敷地内に設け、待機環境も用意する。		
⑨ 出入口の配置について	1	
出入口について、中央玄関もよいが、南、中央、北といった作りはどうか。		
⑩ 駐車場・駐輪場について	1	
駐車場としてのスペースの拡大、確保を。		
⑪ 自転車利用について	1	
庁舎と葛西用水との間の道路を、自動車通行禁止のサイクルロード化する。		
	Aグループ小計	19

B グ ル ー プ	⑩ 駐車場・駐輪場について	5
	駐車スペースをもっと多くしたい。	
	駐輪場を平面だけでなく、2～3階建てに。駐輪場のスペースを多くする。	
	駐車場の敷地は、フラットにして、中央市民会館の広場と一体になるように。市民祭、市内一周駅伝の開・閉会式の会場。約4千人～6千人が集える空間に。	
	市民への駐車場の開放を。	
	待たなくてすむ、駐車場のスペースを。	
	① コンシェルジュ（案内）、窓口・予約サービス等の向上について	4
	窓口の呼び出し番号案内モニターを、複数の休憩場所に設置する。	
	市民の待ち時間の解消を。	
	市民のために、予約はWEB、SNSの活用を。	
	窓口が、現状は様々なフロアにまたがっているため、行き来が面倒なのでワンフロアにしてほしい。	
	② 開庁時間、待ち時間について	2
	特に市民協働ゾーンは、土日も開放して欲しい。	
	利用者を待たせない機能的な配置、設備、休憩所の設置を。	
	⑧ バス・交通について	2
	市役所を中心とした「足立区はるかぜ号12路線」のような、バス路線の充実を図る。	
	交通の便について、前の道が車通りが多くて行きにくいと感じる。	
	③ 子育て世代への配慮について	2
	市民が、気軽に訪問するために保育士がいる保育室がほしい。	
	待ち時間などに、子どもが遊べる場所を。	
④ 食堂（飲食の場）の確保について	1	
市民のために、市の特産品の展示販売、軽食のとれる場所を。		
⑤ 多言語表示等ユニバーサルデザインについて	1	
市民のために、バリアフリーに。		
⑫ ATMの設置について	1	
ATMコーナーを設置。		
⑬ 庁舎ボリュームについて	1	
庁舎数を多くするより、2本を1本に集中した本体を。		
⑭ 市民活動の拠点としての利用について	1	
市民活動支援課を自治会・市民活動の拠点と考え、このスペースを広くし、出入りを自由にできるようにしたい。		
	Bグループ小計	20

テーマ3：市民協働ゾーン		47
A グ ル ー プ	①市民活動の場・発信の場（会議室・展示スペース等）としての活用について	4
	市民活動をする人、起業する人のために、パソコンで何でも検索できる部屋を間仕切りしてほしい。起業する人のための貸しスペースにもなる。	
	団体の活動を発信したい。	
	市民活動が一目でわかるような場の設置を。	
	市民の様々な活動について、創作活動や地域活動の発表の場として、活用したい。	
	②飲食、物産販売の場の確保について	4
	市民、市民活動団体のために、飲食設備、調理、販売が可能なスペースの設置。時間により子ども食堂や、サロンができるものを。	
	出店について、地元商店やブース出店を。	
	市民の運営する喫茶室の設置。	
	市民の憩いの場を。図書室・囲碁・将棋スペース、イートイン併設の気軽に入れるコーヒーショップなど。100円コーヒーやスイーツがあるとよい。	
	③ITを活用したインフィメーション機能について	2
	ITを駆使した越谷インフォメーション画面を備えた1室を設けてほしい。例えば、警察や消防が用いるコントロールスクリーンのように、地図を見てそのボタンをクリックすると、その公共施設での予定行事が見られるなど。	
	通路に展示するボードは、ITを駆使したスクリーンとする。行事ごとに変える必要が無い。	
	④憩いの場、集いの場として活用について	2
	市民の憩いの場を。温泉が出れば憩いの場となり、災害時にも活用できる。	
市民が、気軽に集まり活動できるように、長机や、丸机などを置き、ボードなども取り入れる。		
⑤面積の確保・採光、設備充実について	1	
市民協働ゾーンは、市民が使える面積をできるだけ多く希望します。		
⑥コンシェルジュ、総合案内の配置について	1	
市民が市民のために役に立ちたいと思う人の、市民のコンシェルジュデスクの配置。		
⑦具体的フロア利用について	1	
市民協働ゾーンには、1F フリースペース、2F オープンスペース、3F 防音スペーススタジオ(シアター、劇場)にしてほしい。		
⑧幼児待機、キッズスペースの確保について	1	
幼児をお持ちの両親に対して、幼児待機場所ルームを造ってほしい。		
⑨越谷の歴史展示スペースの確保について	1	
市民が親しむ空間に。市民がより越谷を理解し愛する場として、越谷の歴史、生活の移り変わり展示等により親しむゾーンを造れないか。		
⑩運動スペースの確保について	1	
体育館的な運動スペースをつくる。		
⑪ボランティアの活用について	1	
ボランティアの募集で、希望がさりげなく出来る場に。		
⑫稼働率を上げる企画について	1	
稼働率を、ほぼ365日としたい。そのための企画が必要。		
⑬FMこしがやの配置について	1	
FMこしがやを入れてください。		
⑭図書スペースの配置について	1	
人が集まるので、図書館を協働スペースに移動する。		
⑮土日の開庁について	1	
庁舎は、土日も開放してほしい。		
Aグループ小計		23

B グ ル ー プ	② 飲食、物産販売の場の確保について	6
	朝市のような、農産物を販売するイベントがあるといいと思う。	
	フードコートスペースを。	
	2階にフードコートなどの食堂を。	
	特産物を生かしたレストランや、フードコートのようなものがあるといい。	
	市役所に用事が無くても、待ち合わせ、打合せ等できるようなレストランや喫茶室を作り、憩いの場とする。	
	市民に、越谷の名産品を出すレストランなどを。	
	① 市民活動の場・発信の場（会議室・展示スペース等）としての活用について	5
	市民活動団体のために、団体の所有物を有料で収納できる場所の確保	
	市民が自由に使え、小会議等ができるスペースを。	
	市民の展示が可能なスペースがほしい。	
	市民、市民活動団体のために、自由に会議やミーティングが可能なスペースがほしい。	
	市民協働ゾーンに、和室会議室を作って頂きたい。	
	⑤ 面積確保・採光、設備充実について	3
	市民のために、防音設備のあるスペースがほしい。	
	市民協働ゾーンは、若い人も入りやすいように、光がたくさんはいるような明るいつくり。	
	市民・市民団体のために、音楽・コンサートが開催できる防音設備のあるスペースがほしい。	
	③ ITを活用したインフィメーション機能について	1
	越谷の特長がわかりやすく説明できるコーナーや、特産物コーナーを。	
	④ 憩いの場、集いの場として活用について	1
	フリーマーケットができるスペースを。	
⑥ コンシェルジュ、総合案内の配置について	1	
1階に総合案内所を。		
⑧ 幼児待機、キッズスペースの確保について	1	
協働ゾーンについて、越谷は住宅街であり、子どもの多い街であるので、子どもの遊べるスペースがあるといい。		
⑯ コンビニの配置について	1	
1階にコンビニを。		
⑰ 雨天時の快適な利用について	1	
駐車スペースも含め、雨天でも使用しやすいように。		
⑱ 屋上利用について	1	
屋上を利用して頂きたい。		
⑲ バリアフリー対応について	1	
市民のために、バリアフリーに。		
⑳ 川側との一体的空間利用について	1	
ウッドデッキのイベント開催時に一体となる空間。入口を階段式で観覧席として使用する。		
㉑ その他	1	
市民協働ゾーンは、どのような施設をつくれるのか知りたい。		
	Bグループ小計	24

テーマ4：防災・環境		25
A グ ル ー プ	①空調、CO ₂ 削減、太陽光利用など環境への配慮について	5
	庁舎全体に、空調及び冷暖などにエコをテーマとして取り入れるべき。	
	川風を利用した空調。川は涼風を呼ぶシステム。この川風を庁舎に取り込むよう、設計に折り込む。風の出入り口を温度に合わせてコンピュータでコントロールする。	
	コミュニティ・エネルギー・マネジメントについて、庁舎敷地内の全てのエネルギーを把握し、需給調整を行うことでエネルギーの効率化及びコストダウン、CO ₂ 削減を行う。	
	環境負荷の低減。	
	CO ₂ 削減目標の設定。庁舎の業務部門は、40%削減。それを目標にエネルギー・マネジメントを行う。	
	②備蓄機能について	2
	一般市民のための備蓄食料、倉庫を地下へ。	
	備蓄について、何をどのように確保するか明確にする。燃料の備蓄は、最初に決めておく必要がある。	
	③防災拠点としての情報発信について	2
	防災拠点を、市民に分かりやすく。	
	庁舎について、市民の避難者や帰宅困難者にとって、リアルな情報が得られる場にしたい。	
	④外国人への配慮について	1
	外国人のために、防災に関しては、やさしい日本語でわかるように表記を。	
⑤屋上ヘリポートの設置について	1	
防災のため、屋上にヘリポートを作してほしい。		
⑥防災拠点としての機能について	1	
災害時のために、対策本部機能(本部室)、ヘリポート、仮眠室、シャワー等は確保するのか？		
⑦緑のある環境確保について	1	
環境について、緑や庭がある公園的空間を。		
⑧土地活用について	1	
ロケーションを見ると、現在の土地があるので、やはり工夫して設置できないか。		
Aグループ小計		14
B グ ル ー プ	⑥防災拠点としての機能について	4
	災害時に、本庁舎に宿泊できたら良い。	
	災害にも対応できる指令本部や、避難所としての機能を。	
	川と道路に囲まれて、災害時の集客保護は可能なのか？	
	ライフラインが全て遮断された場合に、行政機能を確保できる設備を設ける。自家発電、水ろ過装置、下水貯留槽など。	
	③防災拠点としての情報発信について	2
	せっかく出来たFMこしがやを協働ゾーンに設置し、いざ災害時に発信できるようにしたい。	
	地域FMの利点である、いち早い情報提供のため、FMこしがやの設置を。	
	②備蓄機能について	1
	災害時のための、非常食の備蓄を。	
	①空調、CO ₂ 削減、太陽光利用など環境への配慮について	1
ソーラーパネル等を利用した、環境を十分に生かした設備を。		
⑤屋上ヘリポートの設置について	1	
ヘリポートの設置を。		
⑨眺望を活かした屋上の活用について	1	
本庁舎屋上に、富士山が見えるスペースを設けていただきたい。		
⑩地震対策について	1	
地震対策として免震構造を。		
Bグループ小計		11

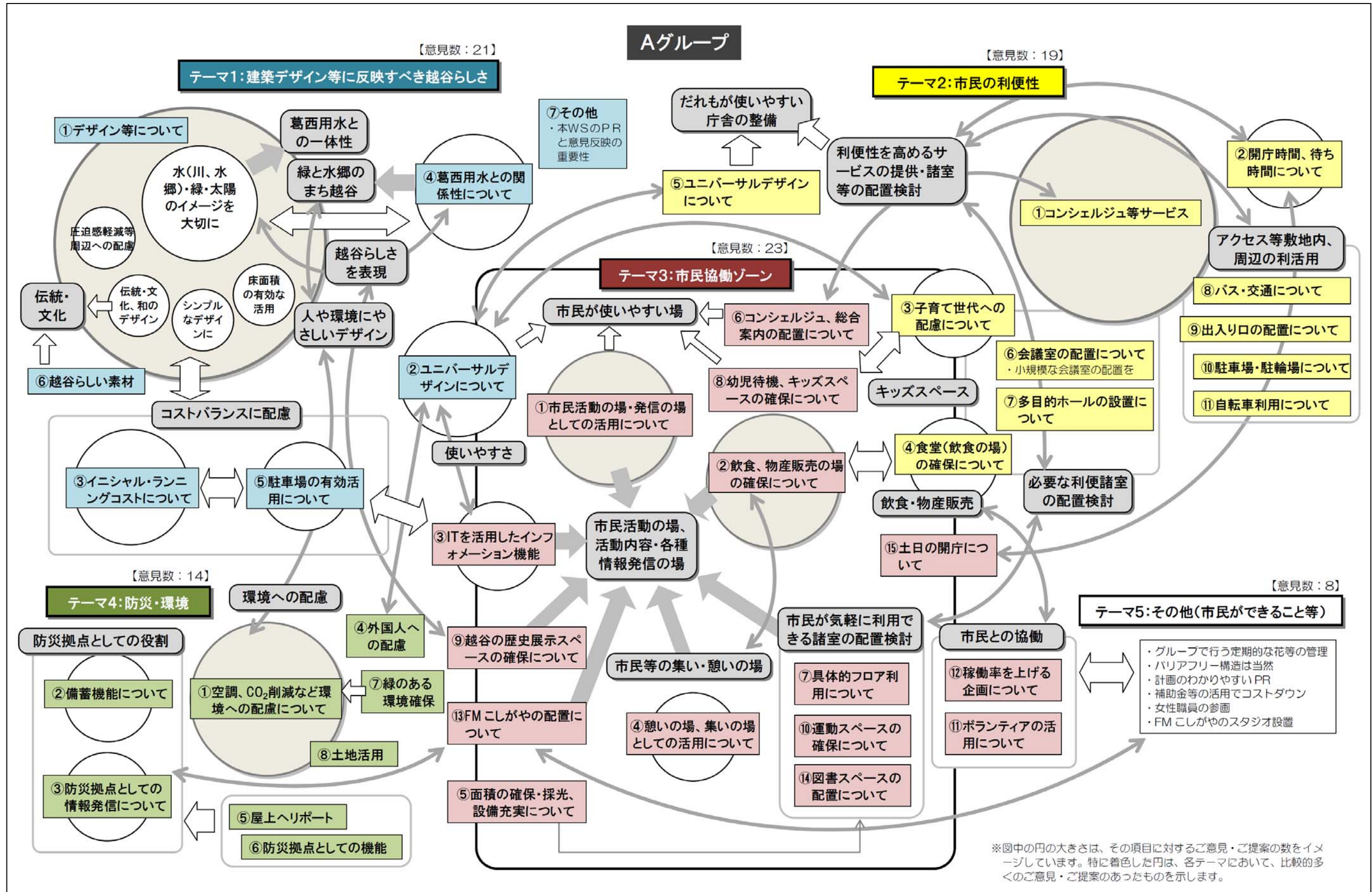
テーマ5：その他（市民ができること等）		11
Aグループ	グループで、定期的に花等の手入れをする。	
	当然、バリアフリー構造してほしい。	
	FMこしがやのスタジオ設置を。	
	分かりやすい計画を発信してほしい。	
	補助金、交付金の最大限の利用について、現在ある補助金等を調べ、ちょっと手を加えれば採用できるもの、そのまま有効利用できるものをしっかり調査・活用し、コストダウンしてほしい。	
	現職員の声を聞き、活かしたい。職員が仕事をしやすいような職場として、どんな意見が出ているかをぜひ聞きたい。	
	水辺について、葛西用水への陸橋化や地下道化を。	
	今回の事務職員の席に、ぜひ女性職員も入れよう。全員男性ばかりで、驚きました。ぜひ、女性職員にも活躍してほしい。	
	Aグループ小計	8
Bグループ	現在ある越谷駅前の越谷市民活動支援センターについてはどうなるのか、計画はあるのか？	
	議会館について、他市町村から見学に来るような、特色を持たせた全ての市民に開かれた議場づくり。	
	市庁舎前の信号について。建物よりも市役所前の交差点の信号を、車がスムーズに通れるように。朝晩は右左折が難しいので。	
		Bグループ小計

Aグループ 「一言コメント」	
<ul style="list-style-type: none"> ・50年後の未来に負荷をかけない建築に ・中核都市にふさわしい国際化を目指す ・耐久性を大事に ・ユニバーサルデザインの徹底 ・協働ゾーンに大きな期待 ・様々な人が使いやすい施設に ・用事が無くても行きたいと思える協働ゾーンにする ・市民のための施設として、ある程度お金をかけて整備する ・お金をかけすぎない ・市民、職員ともに使いやすい施設に ・使いやすい施設に ・入りやすい施設に 	

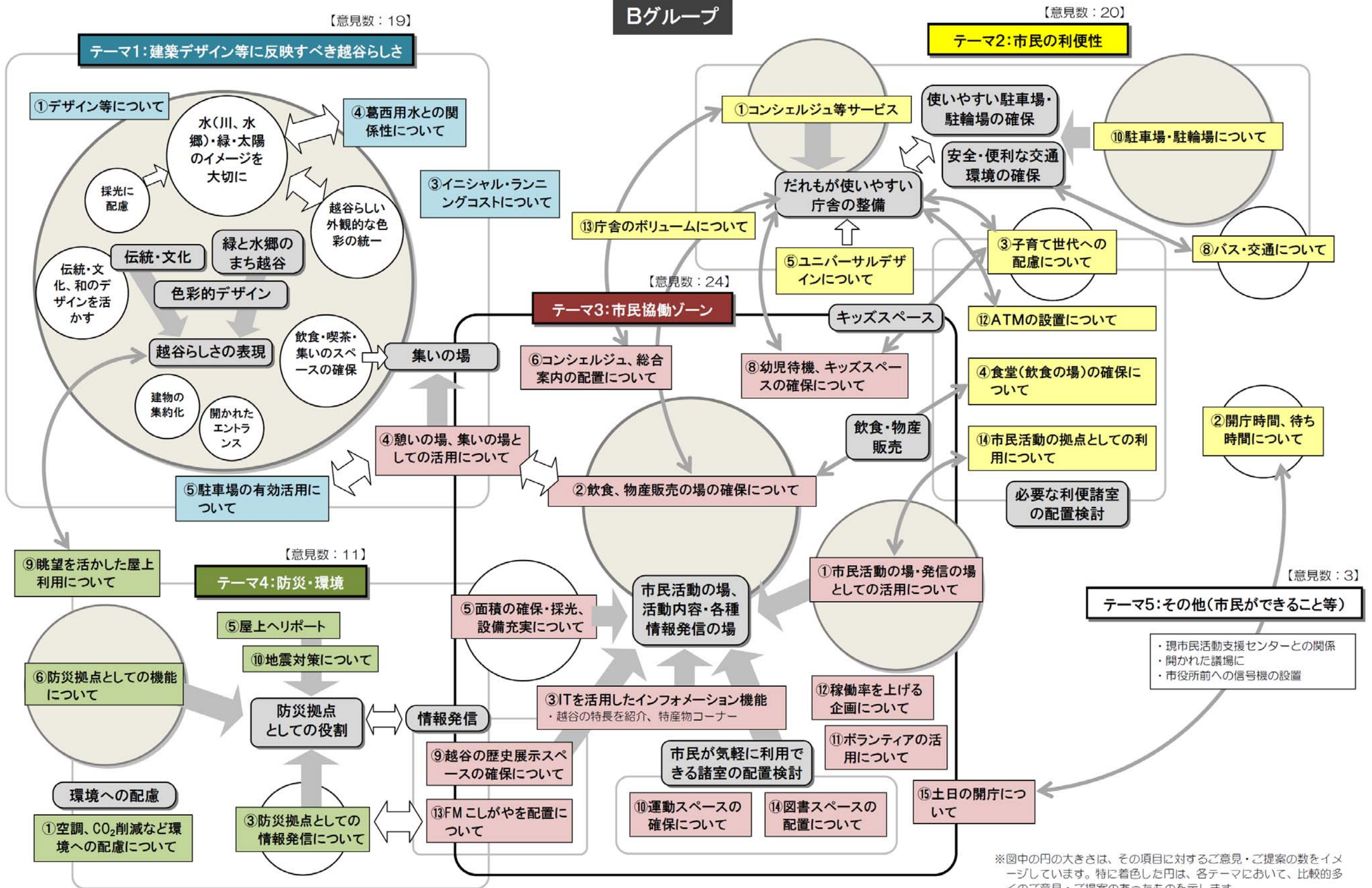
テーマ別グループ別意見数・割合

テーマ	Aグループ	Bグループ	合計
テーマ1：建築デザイン等に反映すべき越谷らしさ	21 24.7%	19 24.7%	40 24.7%
テーマ2：市民の利便性	19 22.4%	20 26.0%	39 24.1%
テーマ3：市民協働ゾーン	23 27.1%	24 31.2%	47 29.0%
テーマ4：防災・環境	14 16.5%	11 14.3%	25 15.4%
テーマ5：その他（市民ができること等）	8 9.4%	3 3.9%	11 6.8%
合計	85 100.0%	77 100.0%	162 100.0%

(3) グループ別提案整理



Bグループ



第2回 越谷市新庁舎建設基本設計市民ワークショップ

【主な検討内容】

「グループ別提案整理」に対する追加意見等の聴取
グループ別市民協働ゾーンに対する大切にしたいと思う項目抽出
グループ別市民協働ゾーンの機能検討

【配付資料】

資料 - 1 第2回 越谷市新庁舎建設基本設計に係る市民ワークショップ
市民協働ゾーンに対する大切にしたいと思う項目投票用紙
参考資料 第2回越谷市新庁舎建設基本設計市民ワークショップに参加するにあたり



【グループディスカッションの様相（Bグループ）】

1. 第2回の開催概要

(1) 主な内容等

開催日時	平成29年8月26日(土) 午後1:30~3:40
会場	越谷市役所本庁舎5階第1委員会室
参加者数	24名
主な内容	(1) 第1回目の結果報告及び第2回ワークショップの進め方 (2) (仮称)市民協働ゾーンに対して大切にしたいと思う項目の抽出 (3) (仮称)市民協働ゾーンの機能の検討 (4) コーディネーター講評

(2) 当日の様様



コーディネーターによる前回概要



ファシリテーターによる前回まとめ報告



投票結果の発表



市民協働ゾーンの機能検討



Aグループの発表



Bグループの発表

2. テーマ

第1回の整理を基に、全員で内容を確認しながら、追加意見を聴取しました。

ワークショップの対象テーマを「市民協働ゾーン」に絞り込み、第1回で出された多様なご意見・ご提案の中から、大切にしたいと思う項目を投票方式で抽出しました。

投票結果等を基に、市民協働ゾーンに取り入れたい機能について、グループディスカッションを行いました。

3. 作業の手順

■STEP 1：前回の意見を確認しました。

前回のまとめ等を基に、前回みなさんから頂いたご意見・ご提案の内容を全体で確認するとともに、追加意見を聴取しました。

追加意見を聴取



■STEP 2：グループ別に、市民協働ゾーンに対して、大切にしたい項目を投票により抽出しました。

グループ別に市民協働ゾーンに対する前回のご意見の内容を再確認しました。

その上で、各グループの市民協働ゾーンに対するご意見一覧表を投票用紙とし、大切にしたいと思う項目に、お一人10個まで○印を記入しました。

○ 投票用紙を回収し、休憩中に集計しました。

前回の意見内容を確認



投票用紙への記入



■STEP 3：グループ別に市民協働ゾーンの機能を検討しました。

集計結果を発表するとともに、その結果等を踏まえ、市民協働ゾーンの機能について、各グループ内においてディスカッション方式で議論し提案を整理しました。

グループディスカッション（Aグループ）



グループディスカッション（Bグループ）



■STEP 4：各グループの成果を発表しました。

前回の発表者以外の人から本日の発表者を選出し、本日の結果を、各グループの発表者から発表してもらいました。

Aグループの発表



Bグループの発表

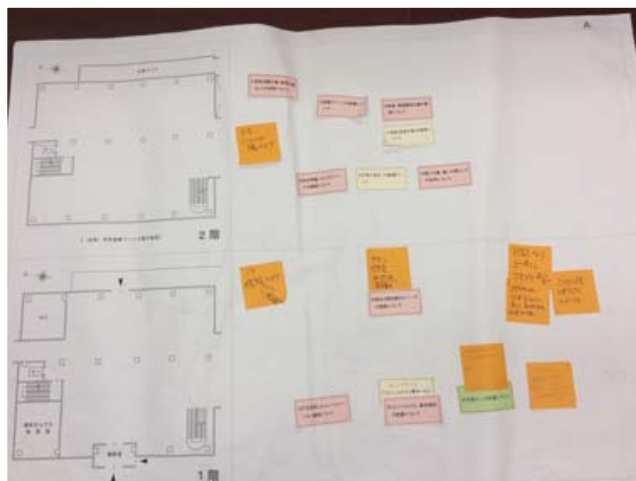


< 第2回ワークショップ作業紙面 >

Aグループ

(左) アイディアカードによる意見の整理

(右) 市民協働ゾーンに対する大切にしたい項目の投票結果

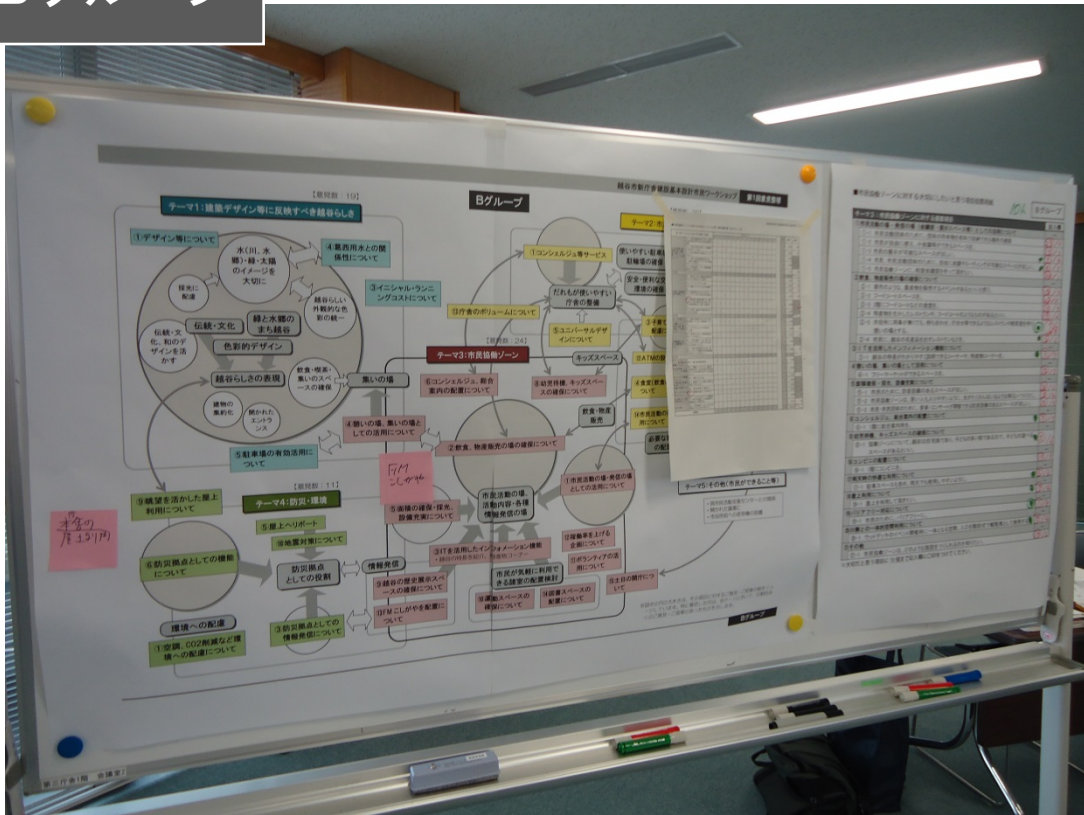


市民協働ゾーンの機能の検討

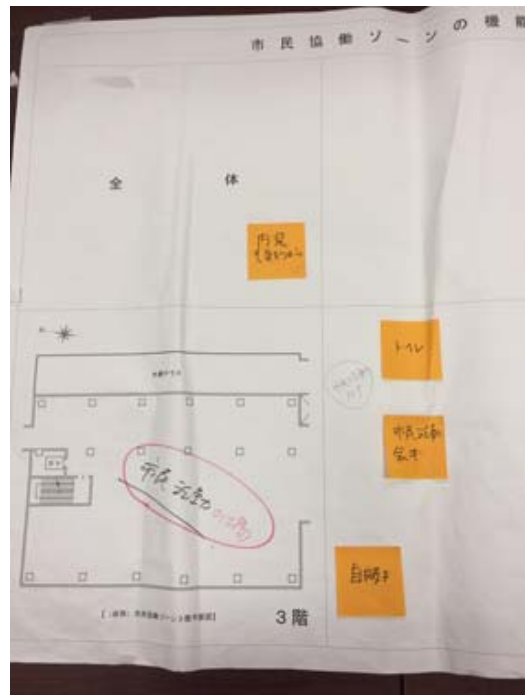


Bグループ

(左) アイディアカードによる意見の整理
 (右) 市民協働ゾーンに対する大切にしたい項目の投票結果



市民協働ゾーンの機能の検討



4. 作業の結果

(1) 追加意見等

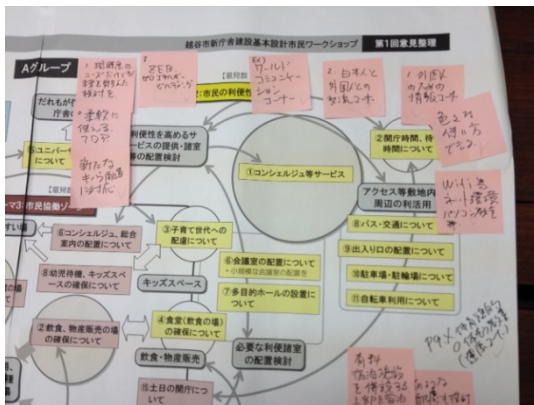
第1回ワークショップのグループ別提案整理に対し、追加意見あるいは必要な訂正箇所等を以下の通りいただきました。

Aグループ

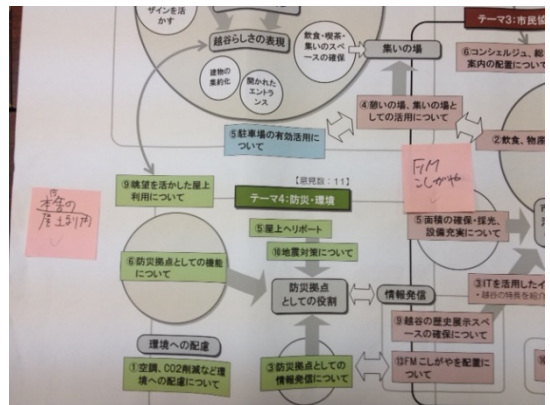
- 現時点のニーズだけでなく、未来を見据えた検討を
 - ・フロアを柔軟に使えるという考え方
 - ・新たな機能配置にも対応可能
- 環境に配慮したZEB（ゼロエネルギービルディング）化を目指す
- 日本人と外国人との交流コーナー、外国人のための情報コーナーを設ける
 - ・ワールドコミュニケーションコーナー
 - ・スペースとして色々な使い方が可能
- Wi-Fi等ネット環境の確保
 - ・パソコン教室等も開催しやすくなる
- 優良宿泊施設を併設する。庁舎上部を宿泊棟とする。
- 喫煙室は必要ない。必要ならば外部に。室内には煙が入らないようにする。
- 体育館的な運動スペースと提案したが、大きな規模のスペースをイメージしてしまうので、体操教室（健康コーナー）程度の規模のイメージに訂正したい。

Bグループ

- 市民協働ゾーンのみでなく、本庁舎の屋上も有効に利用したい
- FMこしがやを配置できれば



Aグループの追加意見聴取



Bグループの追加意見聴取

(2) (仮称) 市民協働ゾーンに対して大切にしたいと思う項目の抽出

第1回ワークショップで出された全ての意見を対象に、各グループ一人10票をもって、投票形式で大切にしたいと思う項目の抽出を行いました。

Aグループ 投票結果

順位	項目	得票数	割合
1	外国人に対する配慮が必要。(※当日追加意見)	11	8.3%
2	幼児をお持ちの両親に対して、幼児待機場所ルームを造ってほしい。	9	6.8%
3	庁舎は、土日も開放してほしい。	8	6.0%
3	市民が親しむ空間に。市民がより越谷を理解し愛する場として、越谷の歴史、生活の移り変わり展示等により親しむゾーンを造れないか。	8	6.0%
3	市民が市民のために役に立ちたいと思う人の、市民のコンシェルジュデスクの配置。	8	6.0%
3	市民の様々な活動について、創作活動や地域活動の発表の場として、活用したい。	8	6.0%
3	市民活動が一目でわかるような場の設置を。	8	6.0%
8	Wi-Fi環境を整える。(※当日追加意見)	7	5.3%
8	ITを駆使した越谷インフォメーション画面を備えた1室を設けてほしい。例えば、警察や消防が用いるコントロールスクリーンのように、地図を見てそのボタンをクリックすると、その公共施設での予定行事が見られるなど。	7	5.3%
8	団体の活動を発信したい。	7	5.3%
11	市民、市民活動団体のために、飲食設備、調理、販売が可能なスペースの設置。時間により子ども食堂や、サロンができるものを。	6	4.5%
12	人が集まるので、図書館を協働スペースに移動する。	5	3.8%
12	体操教室(健康コーナー)的な運動スペースをつくる。	5	3.8%
12	市民が、気軽に集まり活動できるように、長机や、丸机などを置き、ボードなども取り入れる。	5	3.8%
12	市民の運営する喫茶室の設置。	5	3.8%
16	FMこしがやを入れてください。	4	3.0%
16	稼働率を、ほぼ365日としたい。そのための企画が必要。	4	3.0%
16	ボランティアの募集で、希望がさりげなく出来る場に。	4	3.0%
16	市民協働ゾーンは、市民が使える面積をできるだけ多く希望します。	4	3.0%
20	出店について、地元商店やブース出店を。	3	2.3%
21	市民の憩いの場を。図書室・囲碁・将棋スペース、イートイン併設の気軽に入れるコーヒーショップなど。100円コーヒーやスイーツがあるとよい。	2	1.5%
21	市民活動をする人、起業する人のために、パソコンで何でも検索できる部屋を間仕切りしてほしい。起業する人のための貸しスペースにもなる。	2	1.5%
23	市民協働ゾーンには、1F フリースペース、2F オープンスペース、3F 防音スペーススタジオ(シアター、劇場)にしてほしい。	1	0.8%
23	市民の憩いの場を。温泉が出れば憩いの場となり、災害時にも活用できる。	1	0.8%
23	通路に展示するボードは、ITを駆使したスクリーンとする。行事ごとに変える必要が無い。	1	0.8%
合 計		133	100.0%

Bグループ

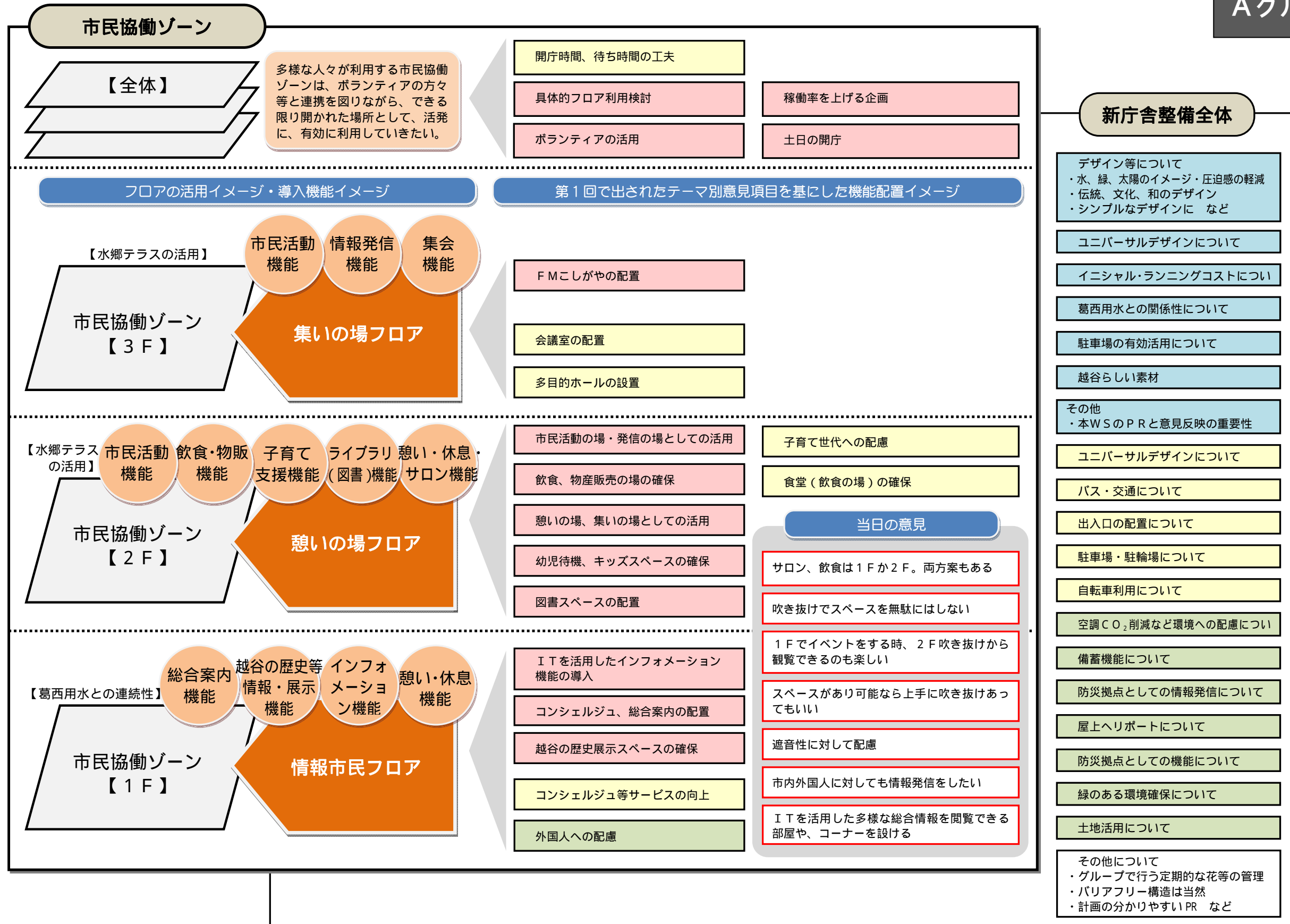
投票結果

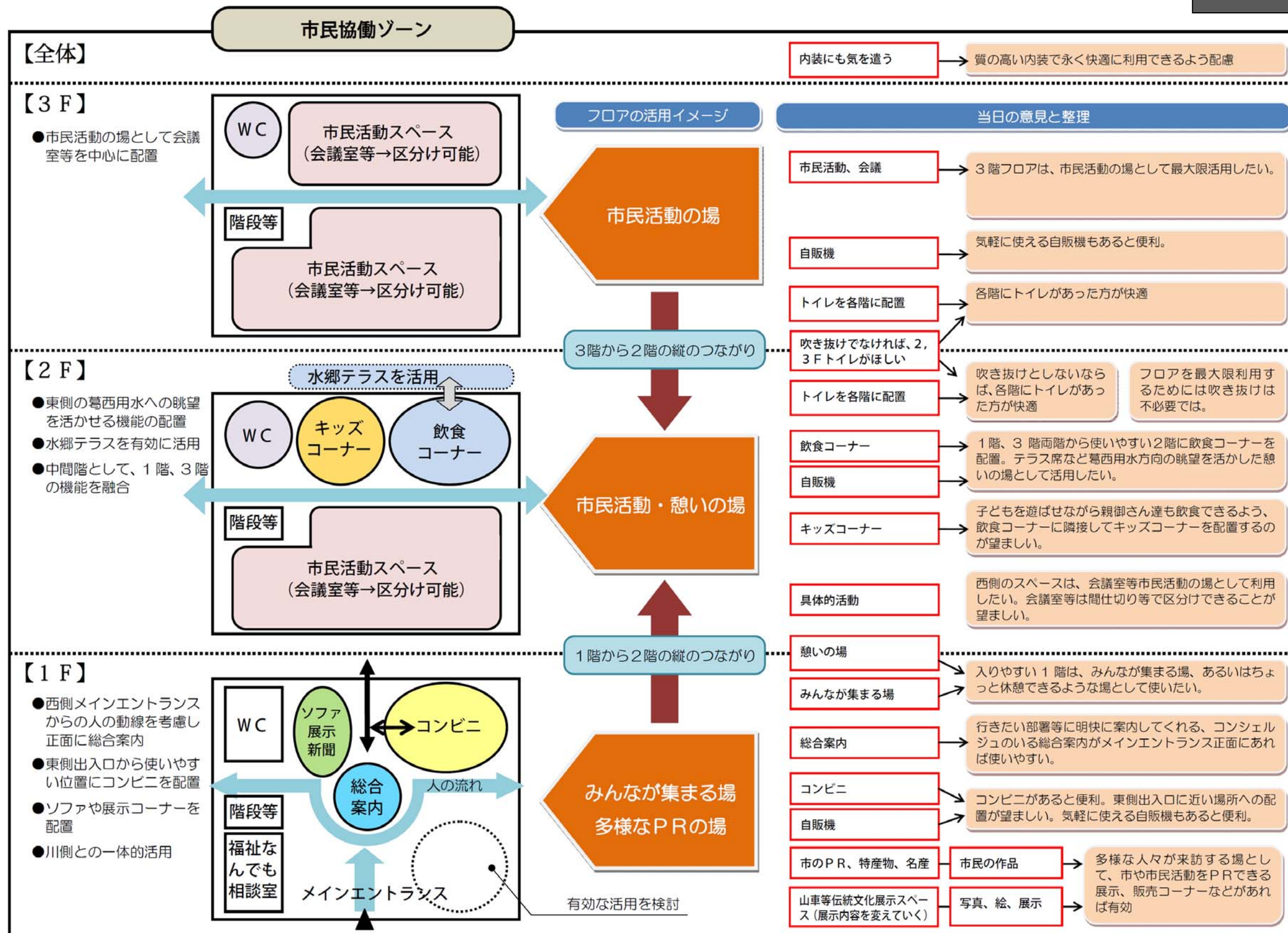
順位	項目	得票数	割合
1	市役所に用事が無くても、待ち合わせ、打合せ等できるようなレストランや喫茶室を作り、憩いの場とする。	8	8.5%
1	市民のために、バリアフリーに。	8	8.5%
3	越谷の特長がわかりやすく説明できるコーナーや、特産物コーナーを。	7	7.4%
3	1階に総合案内所を。	7	7.4%
5	市民に、越谷の名産品を出すレストランなどを。	6	6.4%
5	協働ゾーンについて、越谷は住宅街であり、子どもの多い街であるので、子どもの遊べるスペースがあるといい。	6	6.4%
5	駐車スペースも含め、雨天でも使用しやすいように。	6	6.4%
8	市民、市民活動団体のために、自由に会議やミーティングが可能なスペースがほしい。	5	5.3%
9	市民の展示が可能なスペースがほしい。	4	4.3%
9	市民協働ゾーンは、若い人も入りやすいように、光がたくさんはいるような明るいつくりに。	4	4.3%
9	屋上を利用して頂きたい。	4	4.3%
9	ウッドデッキのイベント開催時に一体となる空間。入口を階段式で観覧席として使用する。	4	4.3%
13	市民が自由に使え、小会議等ができるスペースを。	3	3.2%
13	朝市のような、農産物を販売するイベントがあるといいと思う。	3	3.2%
13	2階にフードコートなどの食堂を。	3	3.2%
13	フリーマーケットができるスペースを。	3	3.2%
13	市民・市民団体のために、音楽・コンサートが開催できる防音設備のあるスペースがほしい。	3	3.2%
13	1階にコンビニを。	3	3.2%
19	特産物を生かしたレストランや、フードコートのようなものがあるといい。	2	2.1%
19	市民のために、防音設備のあるスペースがほしい。	2	2.1%
19	市民協働ゾーンは、どのような施設をつくれるのか知りたい。	2	2.1%
22	市民協働ゾーンに、和室会議室を作って頂きたい。	1	1.1%
23	市民活動団体のために、団体の所有物を有料で収納できる場所の確保	0	0.0%
23	フードコートスペースを。	0	0.0%
合 計		94	100.0%

(3) (仮称) 市民協働ゾーンの機能の検討について【ワークショップでの意見整理とゾーニング案】

大切にしたい項目の投票結果等を踏まえ、グループ別に、市民協働ゾーンのフロア毎に機能の検討を行いました。

Aグループ





第3回 越谷市新庁舎建設基本設計市民ワークショップ

【主な検討内容】

テーマ別個別意見のポイント確認
グループ別(仮称)市民協働ゾーンのゾーニング案の検討

【配付資料】

資料 - 1 第3回 越谷市新庁舎建設基本設計に係る市民ワークショップ

参考資料 第3回越谷市新庁舎建設基本設計市民ワークショップに参加するにあたり



【グループ検討内容の発表（Aグループ）】

1. 第3回の開催概要

(1) 主な内容等

開催日時	平成29年9月30日(土) 午後1:30~3:30
会場	越谷市役所本庁舎5階第1委員会室
参加者数	25名
主な内容	(1) 第2回目の結果報告及び第3回ワークショップの進め方 (2) テーマ別個別意見のポイント確認 (3) (仮称)市民協働ゾーンのゾーニング案の検討 (4) コーディネーター講評

(2) 当日の様相



コーディネーターによる前回概要



ファシリテーターによる前回まとめ報告



設計事務所によるゾーニング案説明



Aグループの発表



Bグループの発表



コーディネーターによる講評

2. テーマ

第2回の整理を全員で確認しました。

グループごとに、これまで頂いた個別意見の整理を確認しました。

(仮称)市民協働ゾーンのゾーニング案について、グループディスカッションを行いました。

3. 作業の手順

■STEP 1：前回の結果を確認しました。

前回のまとめを基に、前回の結果概要等を全体で確認しました。

前回の結果概要を確認



■STEP 2：これまでいただいた個別意見の整理資料をもとに、意見のポイントをグループで確認しました。

これまでみなさんからいただいた個別意見を整理し示した「意見のポイント」について、グループごとにディスカッションを行い、必要に応じ修正しました。

■STEP 3：(仮称)市民協働ゾーンのゾーニング案について、グループディスカッションを行いました。

みなさんのご意見・ご提案を踏まえ検討された(仮称)市民協働ゾーンのゾーニング案の説明を踏まえ、それらの案に対しグループごとにディスカッションを行い、具体的な使い方等をイメージしながら、ゾーニング案に対する意見等をまとめました。

A グループゾーニング案の説明

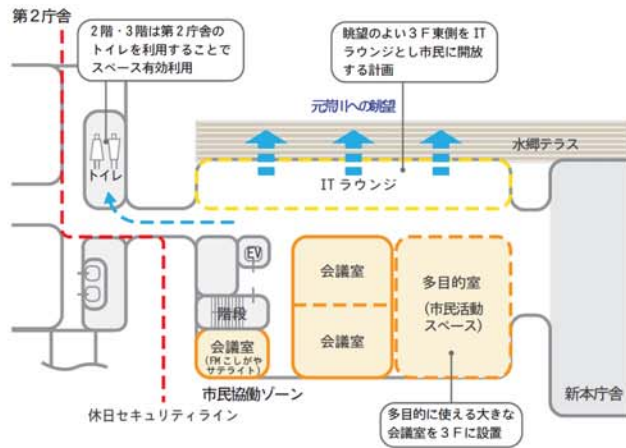


B グループゾーニング案の説明

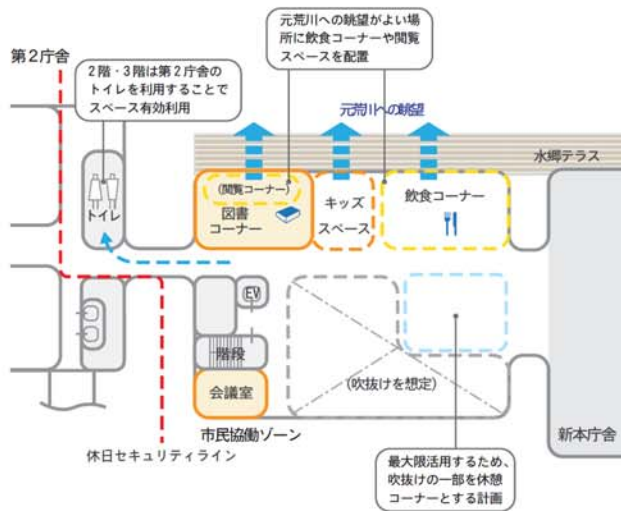


ゾーニング案検討資料（第 2 回の検討結果を踏まえて設計事務所が作成したもの）

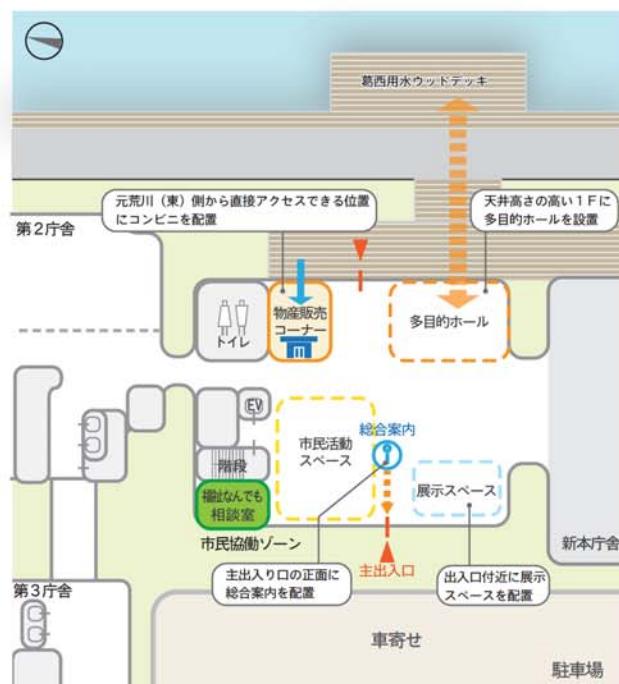
< Aグループ案 >



3階 平面図

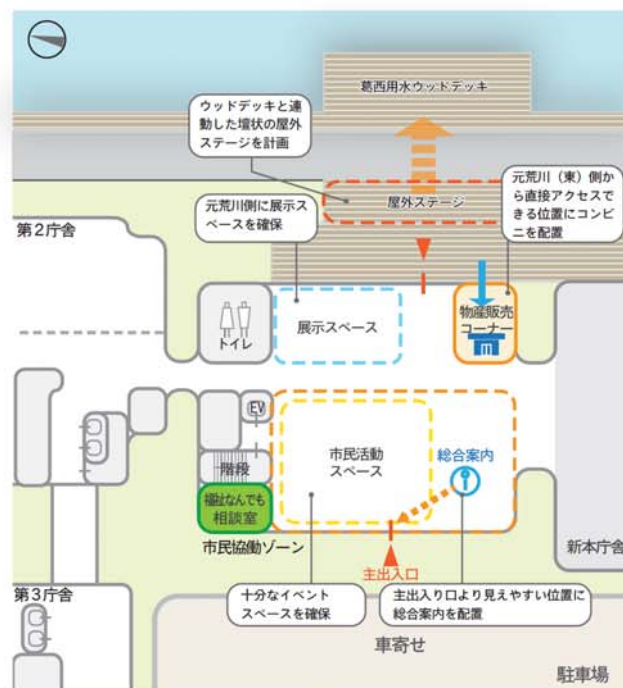
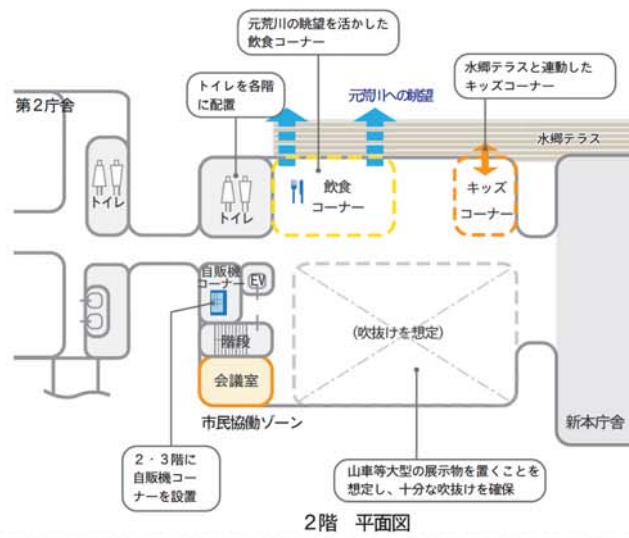
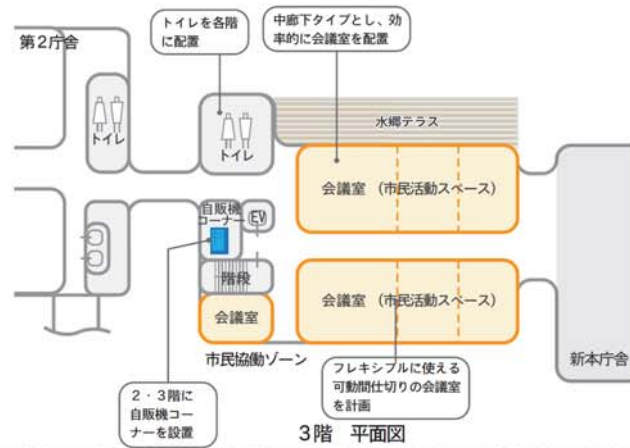


2階 平面図



1階 平面図

< Bグループ案 >





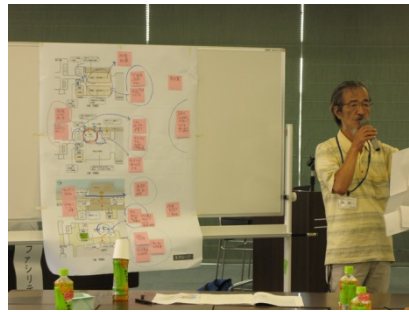
STEP 4 : グループの成果を発表しました。

本日の結果を、前回までの発表者以外の人から選出し、各グループの発表者から発表しました。

Aグループの発表



Bグループの発表

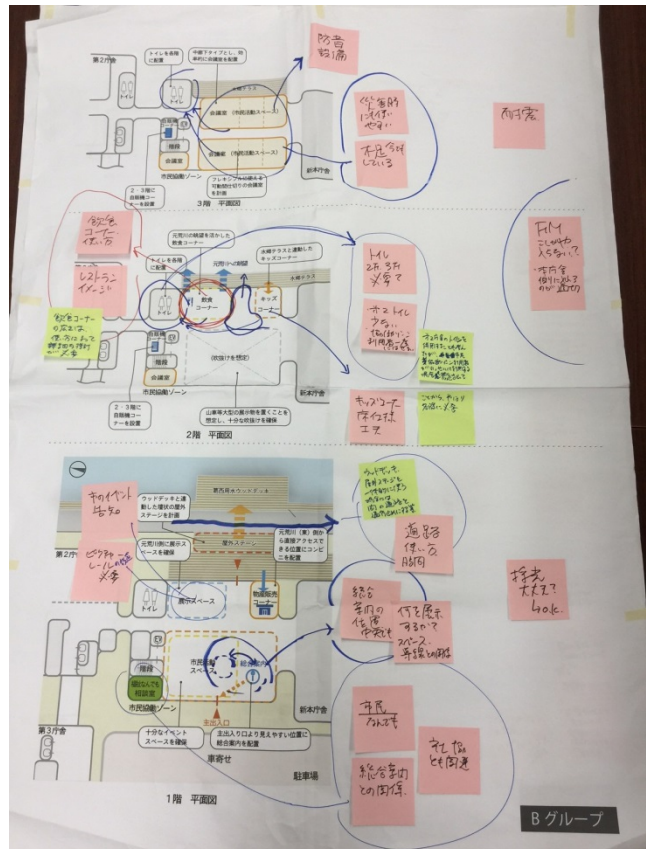
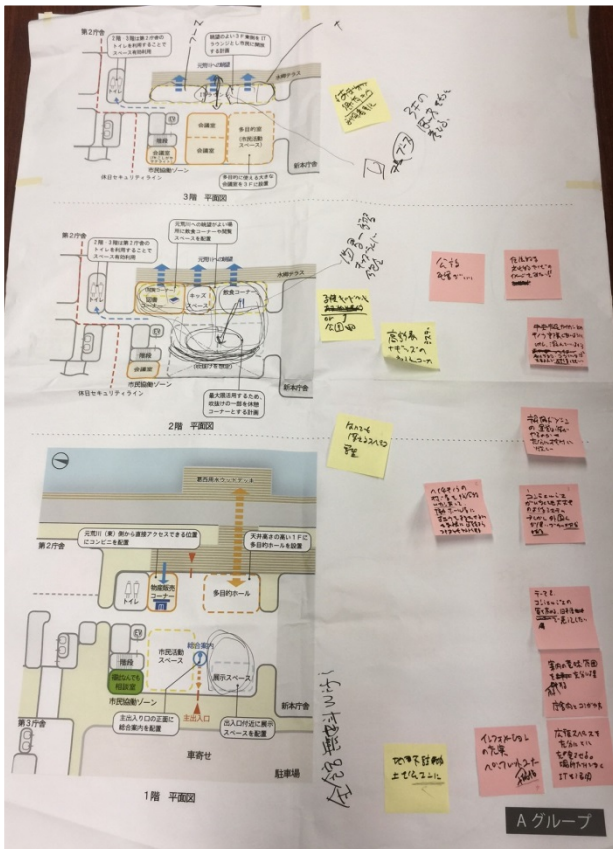


< 第3回ワークショップ作業紙面 >

(仮称) 市民協働ゾーンのゾーニング案に対する各グループの意見等

Aグループ

Bグループ



4. 作業の結果

第3回目は、3回全てのワークショップの内容確認と最終とりまとめを行いました。

(「2-3 市民ワークショップで得られた成果」を参照)

2-3 市民ワークショップで得られた成果

(1) テーマ別個別意見のまとめ

市民ワークショップを通じ、参加者からいただいた新庁舎建設基本設計に対するテーマ別の個別意見をもとに、それらの意見のポイントをまとめました。

Aグループ

テーマ1：建築デザイン等に反映すべき越谷らしさ	意見のポイント
水郷越谷を活かす。	建築デザインの検討にあたっては、水(川、水郷)・緑・太陽のイメージを大切に、伝統・文化、和のデザインを取り入れながら、シンプルなデザイン、圧迫感の軽減などに配慮する。 また、有効に床面積を使いたい。
緑と水郷のまちならではに、各庁舎に緑を取り入れてほしい。	
庁舎西側に、西陽対応として緑をとりいれよう。	
本庁舎の建設は、最新のデザインの中にも、伝統や文化的デザインを取り入れたい。	
シンプルなデザインに。	
市庁舎の外観は、圧迫感のないデザインとしてほしい。周辺住宅等に太陽の反射光を押さえることが必要。	
市民協働ゾーンは、吹き抜けにすると面積が減るので、吹き抜けにしないでください。	案内表示などは、多言語表記にするなど国際化への対応やバリアフリー化を図り、だれもが使いやすいユニバーサルデザインの考え方を大切にする。
国際化、観光のため、iインフォメーションセンターの設置を。	
案内表示板の国際化を。東京メトロと同じような、日本語、中国語、韓国語の表示板をつくる。	
フレンドリーな窓口デザインを。各課のカウンターの高さは、市民の利便性を考慮し、高すぎないように。	
障がい者に対して、バリアフリー化してほしい。	
日本人と外国人との交流コーナー、外国人のための情報コーナーを設ける。	
デザインに費用はかけない。耐震・耐久に費用をかける。	新庁舎の整備にあたっては、将来の人口や未来の使い方等を見据えながら、コストバランスやフロア利用に配慮する。
今後は人口減なので、経費はおさえる。	
庁舎は、将来の修繕・改修をしやすいものとしたい。	
市在住の子供達の将来の為に、費用コスト減は考えすぎ。良い建物設計であってほしい。	
現時点のニーズだけでなく、未来を見据えた検討を。	建築デザインとも関連し、葛西用水との近接性を活かした、一体感、開放感のある空間づくりや開口部の工夫を図る。
川と一体的なイメージのデザインを。川と庁舎の間に道路がはさんでおり、一体感を阻害している。道路を越え、川とつながるデッキのような、幅の広い構造物で一体化したい。	
川を感じられる開口部とする。川に面した側の1、2階部の窓などは、高い天井をもち、川側の窓は、前面窓とし、川との一体感を感じられるようにしたい。	
ウェルカムゲートについて、3階つつぬけの水辺風景で、開放感を持たせる。ガラスばりて葛西用水が見えるようにする。	

テーマ1：建築デザイン等に反映すべき越谷らしさ	意見のポイント
建物をより高層にして、駐車スペースを多く造る。駐車スペースは、催し物の会場にするととき有効。	<p>駐車場の配置を含め、外構のオープンスペースとしての有効な活用方策について検討する。</p> <p>内装や植栽にも越谷らしさを感じる工夫を図る。</p> <p>本市民ワークショップの結果等を情報発信するとともに、意見等を上手く取り入れながら新庁舎整備の検討を進める。</p>
駐車場スペースを有効活用するため、駐車場を地下にしているかどうか。地上スペースは、市民憲章にある「水と緑と太陽に恵まれた豊かな～」を生かした庭園を作る。芝生だけのシンプルなものも可。	
なにか、市内材を活かしたい。内装材を、市内にあるもので活かせるものがないか。久伊豆神社参道の木と同種のもの一部植えるなど。	
建築デザインのわかりやすい事前進行を。「ワークショップの様子を市のHPにのせて、より多くの市民に関心をもってもらう。」と言われたことは素晴らしい。現本庁舎の中に、それらの意見をとりいれると、この様になるという、分かりやすいモデル模型を展示したい。	

テーマ2：市民の利便性	意見のポイント
コンシェルジュの充実を。	<p>外国人を含め、だれもが使いやすい総合案内窓口、コンシェルジュの配置、プライバシーが守られた相談室の確保、子育て支援スペースの設置など、市民が気軽に快適に安心して利用できる新庁舎とする。</p>
内部各担当課に、総合窓口制度を取り入れて市民の利便性をアップする。	
窓口機能について、個人的な相談を受け付けられるような個室をとりいれたい。	
多くの会社勤めの方がリタイア先に困っている。ボランティア窓口がより分かりやすくなるような工夫を。(市民課からの流れ)	
介護や、こどものために、駅前の市民活動支援センターに行っているが、今回新スペースを工夫して、保育園等、市民が来ざるを得ない統一センター機能を持った施設を。	
窓口接客スペースを。手続き、一般的相談、秘匿性のある相談など、レベルに応じた対応ができるようにしたい。ただの仕切りでは声が聞こえてしまう。	
全体について、外国の方に表示がすぐわかるような、全てにわたる多言語の提示を。	<p>庁舎の開閉時間延長など、より市民が使いやすくなるための方策を検討する。</p> <p>保育スペースなど子育て支援スペースを設置する。</p> <p>飲食できる場を確保する。</p> <p>市民活動の場として有効に使える会議室を確保する。</p> <p>防音設備のある多目的に使える空間を確保する。</p> <p>使いやすい駐車場やバス乗降場の確保、分かりやすい出入口の配置及び葛西用水との関係を踏まえた自転車道の確保など、新庁舎整備に関連する外構等のあり方を検討する。</p>
庁舎の開閉時間、特に閉舎時間を延長してほしい。例えば21時まで。	
市庁舎の開閉時間を柔軟にしてほしい。朝窓口7:00～、夜窓口10:00まで(9:00ぐらいでも可)。土日開庁。	
子育て中のママ、パパに、保育士や保育室がほしい。	
子育てスペース、保育スペースを。	
食堂、レストランがあったらいいなあ。	
子ども食堂に利用できる食堂を設置してほしい。	
小規模な30人前後が使える会議室を、設置してほしい。	
防音設備のある多目的ホールを設置してほしい。	
利用者に対する安全性について、バス停を敷地内に設け、待機環境も用意する。	
出入口について、中央玄関もよいが、南、中央、北といった作りはどうか。	
駐車場としてのスペースの拡大、確保を。	
庁舎と葛西用水との間の道路を、自動車通行禁止のサイクルロード化する。	

テーマ3：市民協働ゾーン	意見のポイント
市民活動をする人、起業する人のために、パソコンで何でも検索できる部屋を間仕切りでほしい。起業する人のための貸しスペースにもなる。	市民協働ゾーンは、市民活動の場・発信の場として多様に活用できるよう、必要な諸室や設備を吟味しながら配置する。
団体の活動を発信したい。	
市民活動が一目でわかるような場の設置を。	
市民の様々な活動について、創作活動や地域活動の発表の場として、活用したい。	
市民協働ゾーンは、市民が使える面積をできるだけ多く希望します。	
市民協働ゾーンには、1F フリースペース、2F オープンスペース、3F 防音スペーススタジオ（シアター、劇場）にしてほしい。	
中央市民会館とダブらない内容にする。会議室、展示室、ホールはいらぬ。	
Wi-Fi等ネット環境の確保。	
FMこしがやを入れてください。	
市民、市民活動団体のために、飲食設備、調理、販売が可能なスペースの設置。時間により子ども食堂や、サロンができるものを。	
出店について、地元商店やブース出店を。	
市民の運営する喫茶室の設置。	
市民の憩いの場を。図書室・囲碁・将棋スペース、イートイン併設の気軽に入れるコーヒーショップなど。100円コーヒーやスイーツがあるとよい。	
人が集まるので、図書館を協働スペースに移動する。	
ITを駆使した越谷インフォメーション画面を備えた1室を設けてほしい。例えば、警察や消防が用いるコントロールスクリーンのように、地図を見てそのボタンをクリックすると、その公共施設での予定行事が見られるなど。	市民協働ゾーンには、ITを活用したインフォメーション機能の導入を図る。
通路に展示するボードは、ITを駆使したスクリーンとする。行事ごとに変える必要が無い。	
市民が親しむ空間に。市民がより越谷を理解し愛する場として、越谷の歴史、生活の移り変わり展示等により親しむゾーンを造れないか。	市民協働ゾーンには、越谷に親しみ、理解し愛する場として、越谷の歴史・文化等を展示するスペース確保を図る。
越谷には、歴史資料館、博物館がない為、特産の展示など、ぜひ公共スペースに展示等して頂きたい。	
市民の憩いの場を。温泉が出れば憩いの場となり、災害時にも活用できる。	市民協働ゾーンは、市民の憩いの場、集いの場としての多様な活用方を検討するとともに、市民が使いやすいシステムや機能の充実を図る。
市民が、気軽に集まり活動できるように、長机や、丸机などを置き、ボードなども取り入れる。	
体操教室（健康コーナー）的な運動スペースをつくる。	
稼働率を、ほぼ365日としたい。そのための企画が必要。	
庁舎は、土日も開放してほしい。	
市民協働ゾーンは、土日祝日の開放。Open 9：00～18：00	
市民が市民のために役に立ちたいと思う人の、市民のコンシェルジュデスクの配置。	
幼児をお持ちの両親に対して、幼児待機場所ルームを造ってほしい。	
ボランティアの募集で、希望がさりげなく出来る場に。	
平坦な土地柄、サイクルロードを充実化と共に、自転車利用者の休憩所等の対応を望む。	

テーマ4：防災・環境	意見のポイント
庁舎全体に、空調及び冷暖房などにエコをテーマとして取り入れるべき。	<p>新庁舎整備にあたっては、空調システムの工夫、CO₂削減、太陽光利用、省エネ設備の積極的採用など、効果的なエネルギーマネジメントを行い、環境にやさしい庁舎を目指す。</p>
川風を利用した空調。川は涼風を呼ぶシステム。この川風を庁舎に取り込むよう、設計に折り込む。風の出入り口を温度に合わせてコンピュータでコントロールする。	
コミュニティ・エネルギーマネジメントについて、庁舎敷地内の全てのエネルギーを把握し、需給調整を行うことでエネルギーの効率化及びコストダウン、CO ₂ 削減を行う。	
環境負荷の低減。	
CO ₂ 削減目標の設定。庁舎の業務部門は、40%削減。それを目標にエネルギーマネジメントを行う。	
建物の環境負荷エネルギー目標を2050年にCO ₂ マイナス80%とする。	
環境負荷低減目標は、CASBEEに加えZEBを目標とする。	
自然採光の幅の広い具体的提案	
窓ガラス内オートマチックブラインドの設置	
デシカント湿度調整を行う。	
人感センサーによる光制御	
タスクアンビエントの積極的活用	
西日遮蔽&自然回復用高木樹の植栽	
日射遮蔽断熱性能の高いペイントの活用	
太陽光発電モジュール付き日射遮蔽の設置	
ヘリポートを含め屋上は太陽光発電または太陽熱集熱のパネルを設置し活用する。	
将来のEV化に備えたPV付駐車場屋根の設置	
太陽熱利用暖冷房	
天然ガスコジェネレ、地中熱ヒートポンプ、太陽熱利用システムの統合的熱供給システムとする。	
ガスコジェネレーション設備を常用兼非常用のベース電源とする。	
省エネトイレの設置	
EVを含めた蓄電システムをエネマネに活用	
CEMSの活用による低炭素化、低コスト化	
埼玉県産材によるCRTを活用し、低炭素化及び炭酸ガス固定を進める。	
一般市民のための備蓄食料、倉庫を地下へ。	<p>庁舎は防災拠点としての役割を担っていることから、十分な備蓄機能や情報発信機能の整備、屋上ヘリポート等の確保、外国人への配慮など防災拠点としての機能充実を図る。</p>
備蓄について、何をどのように確保するか明確にする。燃料の備蓄は、最初に決めておく必要がある。	
防災拠点を、市民に分かりやすく。	
庁舎について、市民の避難者や帰宅困難者にとって、リアルな情報が得られる場をしたい。	
外国人のために、防災に関しては、やさしい日本語でわかるように表記を。	
防災のため、屋上にヘリポートを作してほしい。	
災害時のために、対策本部機能（本部室）、ヘリポート、仮眠室、シャワー等は確保するのか？	<p>受動喫煙防止に配慮する。</p>
喫煙室は必要ない。必要ならば外部に。室内には煙が入らないようにする。	
環境について、緑や庭がある公園的空間を。	<p>緑の環境の充実、有効な土地活用を図る。</p>
ロケーションを見ると、現在の土地があるので、やはり工夫して設置できないか。	

テーマ5：その他（市民ができること等）	意見のポイント
グループで、定期的に花等の手入れをする。	市民グループ等との協働で花壇等の管理を行う。
当然、バリアフリー構造にしてほしい。 将来的に、子育て世代、バリアフリー、そして国際化への対応は最も重要である。	子育て世代への配慮、バリアフリー化、国際化への対応が重要である。
FMこしがやのスタジオ設置を。	「FMこしがや」のスタジオの設置を図る。
分かりやすい計画を発信してほしい。	設計等計画内容の情報発信を望む。
補助金、交付金の最大限の利用について、現在ある補助金等を調べ、ちょっと手を加えれば採用できるもの、そのまま有効利用できるものをしっかり調査・活用し、コストダウンしてほしい。	補助金や交付金を効果的に活用し整備コストの抑制を図る。
現職員の声を聞き、活かしたい。職員が仕事をしやすいような職場として、どんな意見が出ているかをぜひ聞きたい。	女性職員の参画を図りながら、市職員の意見についても反映した働きやすい新庁舎の整備を望む。
今回の事務職員の席に、ぜひ女性職員も入れよう。全員男性ばかりで、驚きました。ぜひ、女性職員にも活躍してほしい。	女性職員の参画を図りながら、市職員の意見についても反映した働きやすい新庁舎の整備を望む。
水辺について、葛西用水への陸橋化や地下道化を。	葛西用水へのアクセス強化を図る。
ライフサイクルコストを一貫して追求する。	新庁舎整備にあたっては、ライフサイクルコストを一貫して追求する。
優良宿泊施設を併設する。庁舎上部を宿泊棟とする。	庁舎上部を活用した宿泊施設の誘致を検討する。

Bグループ

テーマ1：建築デザイン等に反映すべき越谷らしさ	意見のポイント
建物の中に、越谷の木を植える。自然が多いイメージがあれば、市民も利用しやすくなると思う。	建築デザイン検討にあたっては、水（川、水郷）・緑・太陽のイメージを大切に、葛西用水と一体感のある、かつ開放感のある庁舎の整備を図る。
庁舎・建築物について、緑の多い空間に。	
協働ゾーンの建物デザインについて。越谷は、水と緑と自然溢れる都市だと思うので、自然採光、水、緑の配置によって、明るく開放的で自然あふれるスペースにしてほしいと思う。	
水と緑と太陽のまち越谷として、水と緑を意識し、隣接する川とウッドデッキを一体化した市役所に。	
ウッドデッキと市役所の間に道路があり寸断されてしまうため、この道路をなんとかしたい。	
窓について、採光のためのガラス窓（強化ガラスも含めて）は？壁が必要と思う。	
市民が入りやすいエントランスづくりを。	
駅前に出来た「ガーヤちゃんの蔵屋敷」と、越谷宿を意識した和のデザインに。	越谷宿、しらこぼと、格子など越谷の伝統・文化、和のデザインを取り入れ、越谷らしい建築デザインを目指す。
庁舎について、しらこぼとをモチーフにしたデザインに。	
イメージづくりのための資料にある格子は、8F、7Fの上階には不必要。	
本庁舎の色について、本庁舎、第二、第三共に、出来上がりの色を統一する。	越谷らしい色彩を統一的に採用するなど、景観的な配慮を図る。
壁の色を、水郷らしい水色などに。	
水と緑のまちにふさわしい外観、色使いにしてほしい。	
市民が集まり易い、行き易い雰囲気を作って欲しい。	飲食、喫茶など、市民が集い憩えるスペースを確保する。
市民の喫茶スペースがほしい。	
市民が集えるホールについて、収容人数300名位のコミセン「ポルティコ」以上の、500名ぐらいで会食できるスペースがほしい。	
建物をまとめる。第二、第三を取り壊して本庁舎にまとめ、8階建てでなくもっと高くする。倍の15階建てでもよい。	建物の集約化や駐車場の有効活用など効率的な敷地利用を検討する。
イベント広場等にも有効に使える、駐車スペースの配慮を。	
市民協働ゾーンについて、新庁舎は越谷市の顔となる建物。防災対策で越谷らしさを出すには、35万円/m ² ではいかなものか。アップで45万円/m ² としてはどうか。	コスト面でも越谷の顔にふさわしい庁舎整備を検討する。

テーマ2：市民の利便性	意見のポイント
駐車のスペースを、もっと多くしたい。	使いやすい駐車場・駐輪場の確保とスペースとしての有効活用を検討する。
駐車場を平面だけでなく、2～3階建てに。駐輪場のスペースを多くする。	
駐車場の敷地は、フラットにして、中央市民会館の広場と一体になるように。市民祭、市内一周駅伝の開・閉会式の会場。約4千人～6千人が集える空間に。	
市民への駐車場の開放を。	
待たなくてすむ、駐車場のスペースを。	
窓口の呼び出し番号案内モニターを、複数の休憩場所に設置する。	総合窓口の設置、コンシェルジュの配置、予約システムの機能向上、開庁時間の延長など、市民がより使いやすい新庁舎の整備を図る。
市民の待ち時間の解消を。	
市民のために、予約はWEB，SNSの活用を。	
窓口が、現状は様々なフロアにまたがっているため、行き来が面倒なのでワンフロアにしてほしい。	
特に市民協働ゾーンは、土日も開放して欲しい。	
利用者を待たせない機能的な配置、設備、休憩所の設置を。	新庁舎整備に合わせた安全で機能的な交通環境の確保を検討する。
市役所を中心とした「足立区はるかぜ号12路線」のような、バス路線の充実を図る。	
交通の便について、前の道が車通りが多くて行きにくいと感じる。	
市民が、気軽に訪問するために保育士がいる保育室がほしい。	保育スペースなど子育て支援スペースを設置する。
待ち時間などに、子どもが遊べる場所を。	
市民のために、市の特産品の展示販売、軽食のとれる場所を。	市民や来庁者が使いやすい機能の充実を図る。
市民のために、バリアフリーに。	
ATMコーナーを設置。	
市民活動支援課を自治会・市民活動の拠点と考え、このスペースを広くし、出入りを自由にできるようにしたい。	
庁舎数を多くするより、2本を1本に集中した本体を。	適切な庁舎ボリュームを検討する。

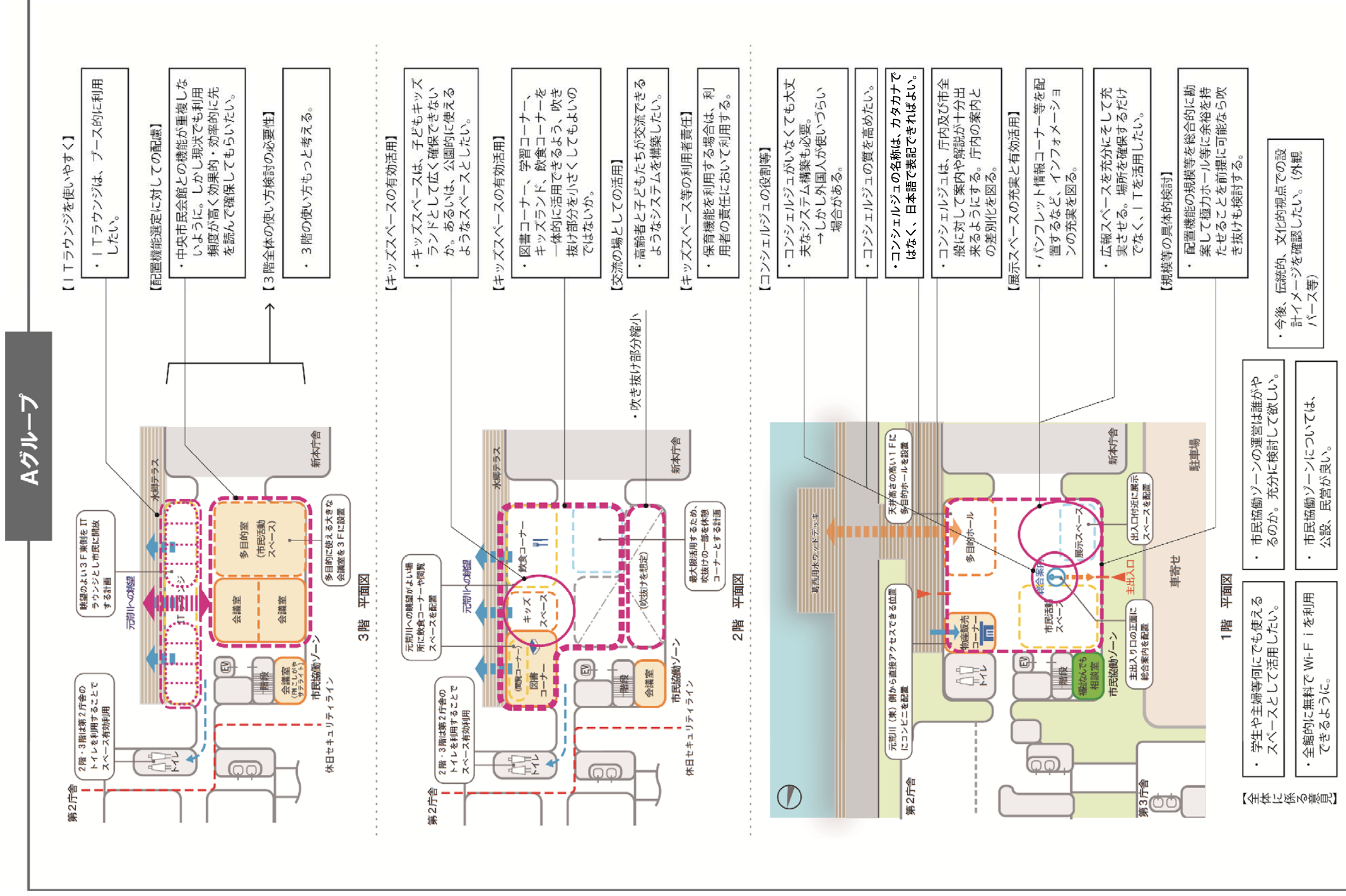
テーマ3：市民協働ゾーン	意見のポイント
朝市のような、農産物を販売するイベントがあるといいと思う。	市民協働ゾーンには、飲食や物販スペース等を配置し、市民の憩いの場として機能させる。
フードコートスペースを。	
2階にフードコートなどの食堂を。	
特産物を生かしたレストランや、フードコートのようなものがあるといい。	
市役所に用事が無くても、待ち合わせ、打合せ等できるようなレストランや喫茶室を作り、憩いの場とする。	
市民に、越谷の名産品を出すレストランなどを。	
フリーマーケットができるスペースを。	
1階にコンビニを。	市民協働ゾーンは、市民活動の場・発信の場としての多様に活用できるよう、採光や防音にも配慮しながら、会議室やホール等の配置を検討する。
市民活動団体のために、団体の所有物を有料で収納できる場所の確保を。	
市民が自由に使い、小会議等ができるスペースを。	
市民の展示が可能なスペースがほしい。	
市民、市民活動団体のために、自由に会議やミーティングが可能なスペースがほしい。	
市民協働ゾーンに、和室会議室を作って頂きたい。	
市民のために、防音設備のあるスペースがほしい。	
市民・市民団体のために、音楽・コンサートが開催できる防音設備のあるスペースがほしい。	
市民協働ゾーンは、若い人も入りやすいように、光がたくさんはいるような明るいつくり。	
越谷の特長がわかりやすく説明できるコーナーや、特産物コーナーを。	
1階に総合案内所を。	市民協働ゾーンには、子どもが遊べるようなキッズスペースを確保する。
協働ゾーンについて、越谷は住宅街であり、子どもの多い街であるので、子どもの遊べるスペースがあるといい。	
駐車スペースも含め、雨天でも使用しやすいように。	駐車場も含め雨天でも使いやすいよう配慮する。
屋上を利用して頂きたい。	市民協働ゾーンの屋上利用を検討する。
市民のために、バリアフリーに。	多様な市民が利用する市民協働ゾーンは、バリアフリー化を図る。
ウッドデッキのイベント開催時に一体となる空間。入口を階段式で観覧席として使用する。	市民協働ゾーン1階には、観覧席として利用できる、ウッドデッキと一体となる階段状スペースの確保を図る。
市民協働ゾーンは、どのような施設をつくられるのを知りたい。	市民協働ゾーンの検討について情報発信を望む。

テーマ4:防災・環境	意見のポイント
地震対策として免震構造を。	庁舎は防災拠点としての役割を担うことから、免震構造の採用、十分な備蓄機能や情報発信機能の整備、屋上ヘリポート等の確保など防災拠点としての機能充実を図る。
災害時に、本庁舎に宿泊できたら良い。	
災害にも対応できる指令本部や、避難所としての機能を。	
川と道路に囲まれて、災害時の集客保護は可能なのか。	
ライフラインが全て遮断された場合に、行政機能を確保できる設備を設ける。自家発電、水ろ過装置、下水貯留槽など。	
せっかく出来たFMこしがやを協働ゾーンに設置し、いざ災害時に発信できるようにしたい。	
地域FMの利点である、いち早い情報提供のため、FMこしがやの設置を。	
災害時のための、非常食の備蓄を。	
ヘリポートの設置を。	
ソーラーパネル等を利用した、環境を十分に生かした設備を。	
本庁舎屋上に、富士山が見えるスペースを設けていただきたい。	本庁舎の屋上には眺望を活かしたスペースの有効活用を図る。
市民協働ゾーンのみでなく、本庁舎の屋上も有効に利用したい。	

テーマ5：その他（市民ができること等）	意見のポイント
現在ある越谷駅前の越谷市民活動支援センターについてはどうなのか、計画はあるのか？	既存の越谷市民活動支援センターとの連携・役割分担等が求められる。
議会館について、他市町村から見学に来るような、特色を持たせた全ての市民に開かれた議場づくり。	特色があり市民に開かれた議場の整備が望まれる。
市庁舎前の信号について。建物よりも市役所前の交差点の信号を、車がスムーズに通れるように。朝晩は右左折が難しいので。	新庁舎整備に伴う周辺の交通環境の安全性確保を望む。

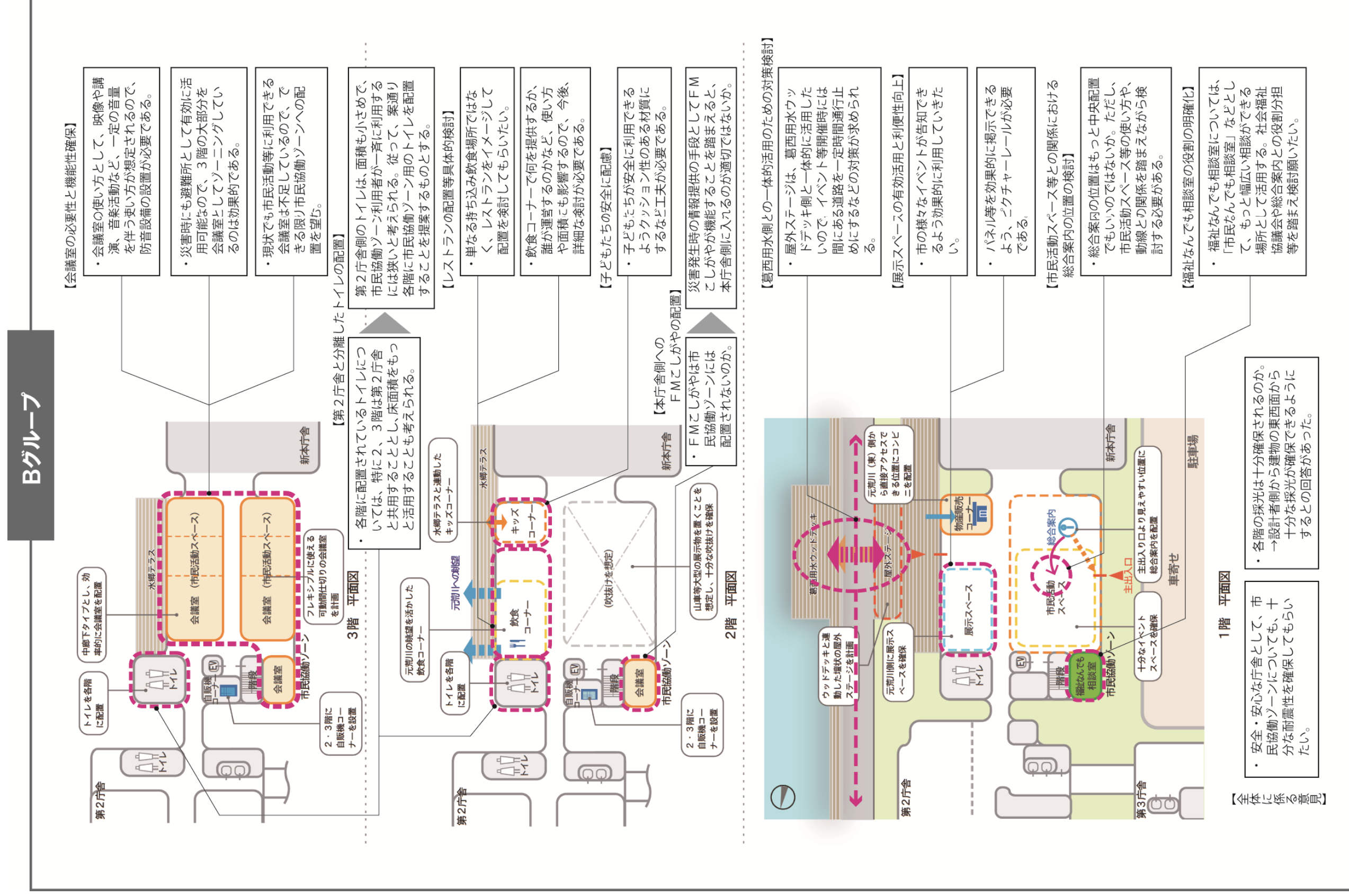
(2) (仮称)市民協働ゾーンのゾーニング案についての意見等のまとめ

みなさんのご意見を踏まえ検討されたゾーニング案に対し、グループでディスカッションを行い、具体的な使い方をイメージしながら、意見をまとめました。



(2) (仮称)市民協働ゾーンのゾーニング案についての意見等のまとめ

みなさんのご意見を踏まえ検討されたゾーニング案に対し、グループでディスカッションを行い、具体的な使い方をイメージしながら、意見をまとめました。



3

参考資料

3-1 参加者名簿

(敬称略、50音順)

氏名	推薦・公募	団体名など	班
会田 雄一	推薦	越谷市自治会連合会	B
会田 容子	推薦	越谷市子ども会育成連絡協議会	B
青木 美花	公募	市内在住・学生	B
浅見 昭一	推薦	越谷市自治会連合会	A
有竹 和子	公募	市内在住	A
飯田 ちさと	公募	市内在住・学生	B
池ノ谷 一郎	推薦	越谷市レクリエーション協会	B
石崎 一宏	推薦	越谷市自治会連合会	A
泉 吉昭	公募	市内在住	B
齋宮 美紀夫	公募	市内在住	A
江原 武男	推薦	越谷商工会議所	B
大沢 昌太郎	推薦	越谷市自治会連合会	B
大武 孝夫	推薦	社会福祉法人越谷市社会福祉協議会	A
岡田 愛美	公募	市内在住・学生	A
奥村 裕子	公募	市内在住	A
黒羽 博正	公募	市内在住	B
谷 純一	推薦	こしがや市民活動連合会	B
谷口 信雄	公募	市内在住	A
得上 成子	公募	市内在住	B
中村 譲二	推薦	越谷市文化連盟	A
中村 千代子	推薦	越谷市環境推進市民会議	A
林 豊	公募	市内在住	A
吹上 剛	公募	市内在住	B
藤浪 均史	推薦	越谷市体育協会	B
松原 千廣	推薦	こしがや市民活動連合会	A
茂呂 達也	推薦	越谷市PTA連合会	A
渡辺 明子	推薦	越谷ミズの会	B
渡部 啓亮	公募	市内在学・学生	A
渡部 壽三	推薦	こしがや市民活動連合会	A

コーディネーター：東京電機大学未来科学部教授 積田 洋

ファシリテーター：エコまちづくりフォーラム株式会社 須藤 敦司、中谷 努

事務局：総務部庁舎管理課、行財政部行政管理課、建設部営繕課

設計事務所：株式会社 梓設計

参加者集合写真（第3回開催時撮影）



グループ写真（第2回開催時撮影）



Aグループ



Bグループ

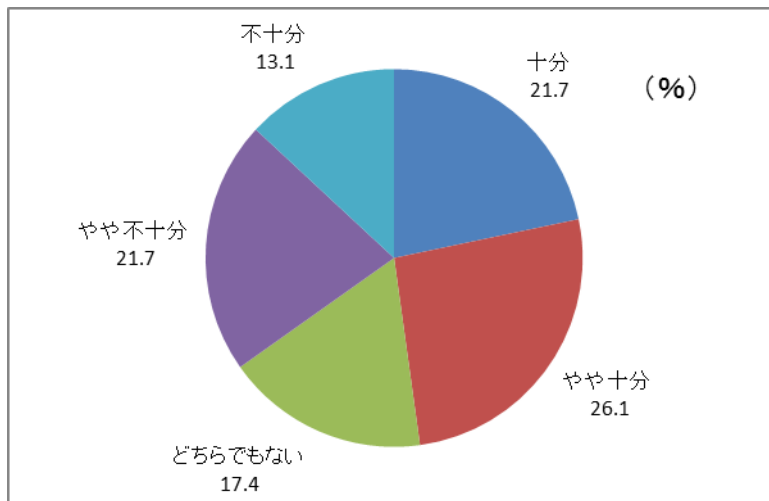
3-2 「新庁舎建設基本設計市民ワークショップ」アンケート集計結果

本アンケートは、平成29年8、9月に開催した「新庁舎建設基本設計市民ワークショップ」(全3回)に対する参加者の評価を的確に把握するとともに、今後の越谷市政の参考にすることを目的として実施したものです。

アンケート実施日：平成29年9月30日

回答数：23

Q1. 今回、市民ワークショップについて、実施回数は十分でしたか？



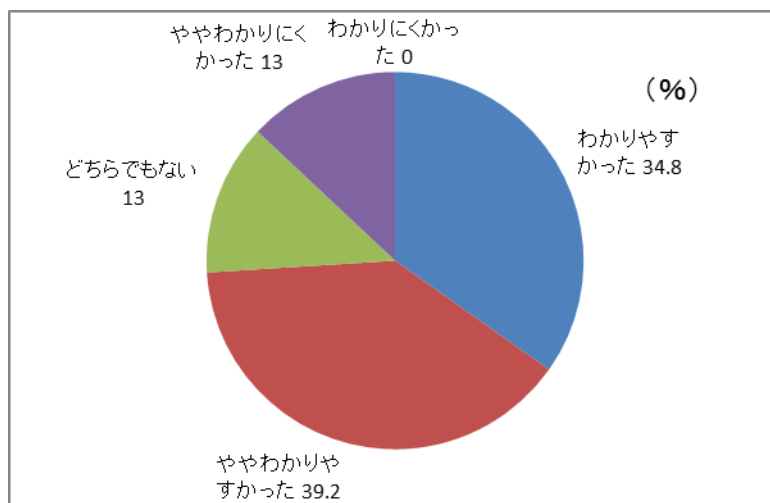
実施回数は、「十分」、「やや十分」の合計が47.8%となっており、「不十分」、「やや不十分」の合計、34.8%を上回った。

不十分であった点については、時間が足りないことや、内容について、市民協働ゾーンだけに的を絞られたことなどが挙げられた。

(自由記述)

- ・新庁舎と協働ゾーンの2つについての話し合いは時間的に不十分。
- ・フリートークができる時間がもう少し欲しかった。
- ・回数は、よかったが、1回の時間をもう1時間くらい長い方が、議論が深まったのではないかと思います。
- ・内容、又、メンバーが全く違い何回やっても無理
- ・進捗状況のインターバルでの開催もあっていいのでは？
- ・市民協働ゾーンだけに的を絞ったワークショップになってしまった感じで、新本庁舎については、どうなるのでしょうか！！
- ・何回開催してもきりが無い。期間を決め、3回は十分と考える。
- ・回数の問題ではないと思います。

Q2 . 配布したワークショップの資料は、わかりやすいものでしたか？



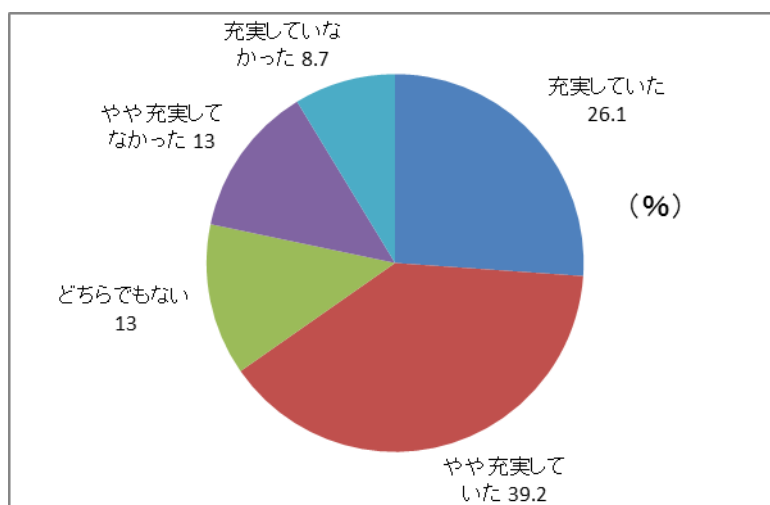
配布資料は、「わかりやすかった」、「ややわかりやすかった」の合計が、74%であった。

短時間でよくまとまった、図面化されたものは分かりやすかった、良かったという意見がある一方で、内容の重複についての指摘などもあった。

(自由記述)

- ・短時間で、よくまとまったと思います。
- ・意見が多いので仕方ないかと思った。3回目はよくわかった。
- ・整理は、まあまあだったが、重複をもう少し整理すると分かりやすくなると思いました。
- ・言ったことを形にしてあり、良かったと思う。
- ・3回目の資料の図面化されたものはわかりやすかったです。
- ・基本設計プロポーザル提案に基づいて議論されると思っていたが・・・
- ・新庁舎機能の導入の資材が淋しかった。
- ・協働ゾーンを中心に関心を持ち参加した。完成の型が見えず、最初はとまどった。

Q3 . 設定されたテーマについて、充実した内容でしたか？



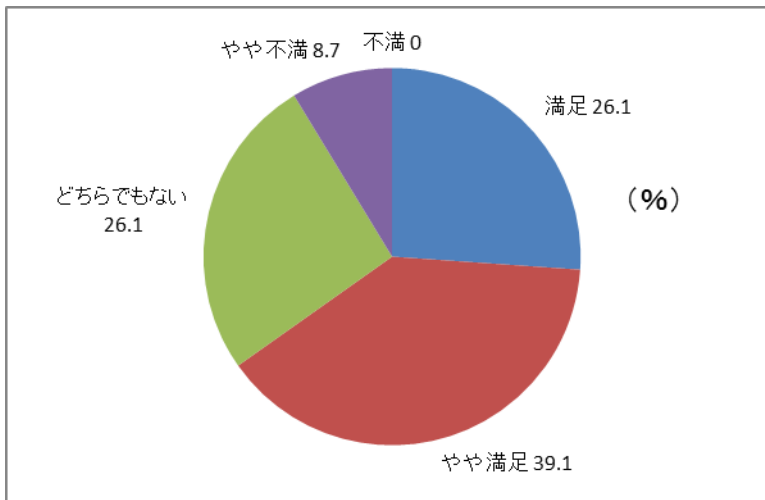
テーマについて、「充実していた」「やや充実していた」の合計が、65.3%と、半数以上を占めた。

充実していなかったとする意見は、時間不足、難しい、さらには、テーマを市民協働ゾーンに絞ったことなどによるものであった。

(自由記述)

- ・時間不足
- ・市民協働ゾーンのこともっと多く、テーマも明確だと良い。
- ・市民に問うには難しすぎた。
- ・全体への意見のつもりであったが、市民協働ゾーンだけの一部分だったので残念でした。
- ・自治基本条例にのっとり市民と市政が協働するためのテーマとして妥当であった。
- ・テーマとは違う。もしくは、このテーマだとほんの一部しか理解できない。

Q4 . ファシリテーターの対応は、いかがでしたか？



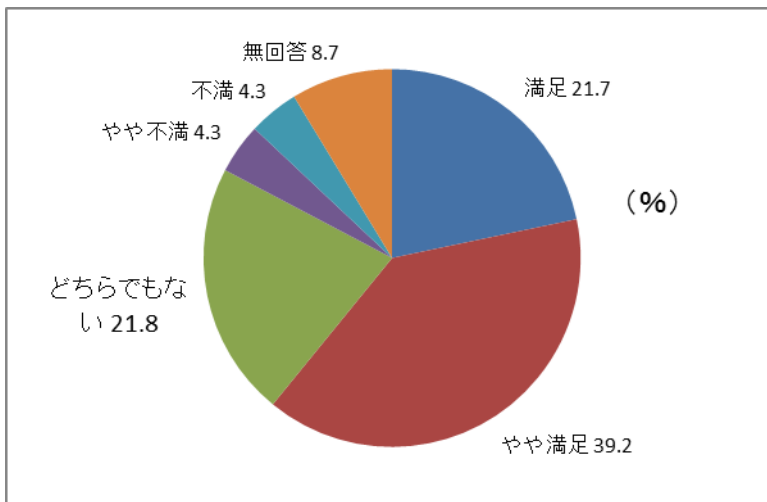
ファシリテーターについて、「満足」、「やや満足」の合計が65.2%と比較的多く、「不満」は、ゼロであった。

上手、しっかりやった、わかりやすかったという意見が多かったが、一方で、方向性を狭くされたという意見も出された。

(自由記述)

- ・立場としては当然のことをしっかりやってくれたと思う。
- ・第3回目は、良かった。
- ・ファシリテーターは非常に上手だった。
- ・始めは、ぎこちなかったが、一生懸命な所が評価された。
- ・誘導の仕方が上手く、方向性を狭くされてしまった。
- ・説明は、わかりやすかった。
- ・ややもすると、議論が左右に行くのをうまくリードしていた。困難なワークショップをよくまとめられたと思う。

Q5 . 市民ワークショップの進め方について、満足していますか？



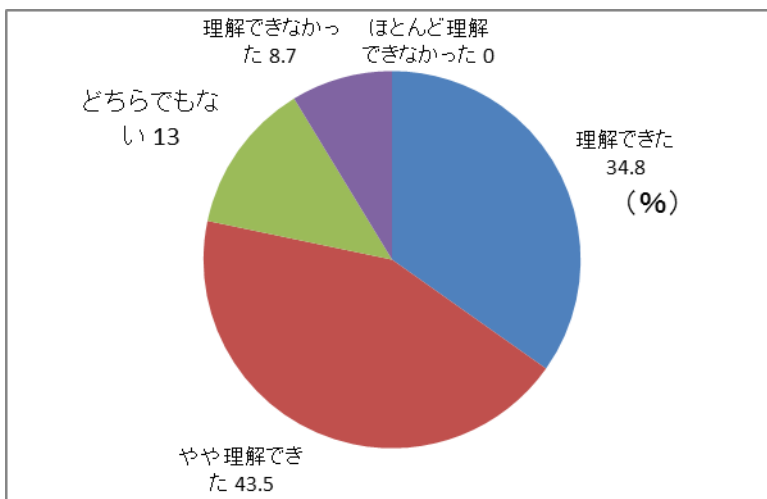
「満足」「やや満足」の合計が、60.9%と、半数以上を占めた一方で、「不満」「やや不満」の合計が、8.6%となった。

勉強になった、よくまとめたなどの意見があったが、時間や各回間の期間、意見を出しやすくしてほしいなどの指摘もあった。

(自由記述)

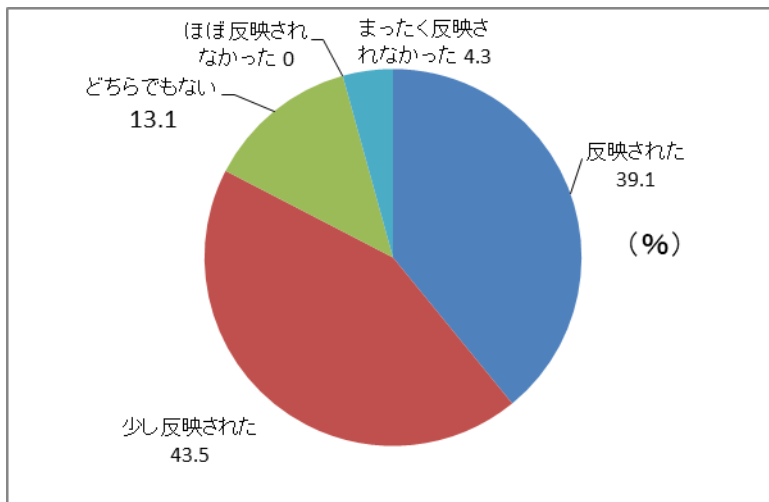
- ・時間が足りない。
- ・ファシリテーターの方の意見が圧倒的で、もう少し意見を出しやすくしてもらいたかった。
- ・勉強になりました。
- ・回答はむずかしいが、良く議論を掘り出しまとめたと思う。
- ・事前準備、情報が無い。第1回・第2回・第3回の期間が短い。

Q6 . 今回、様々な立場の市民が参加しましたが、市民ワークショップの一定の時間とルールに基づき、一人ひとりの意見にきちんと耳を傾け、みんなの意見を理解できましたか？



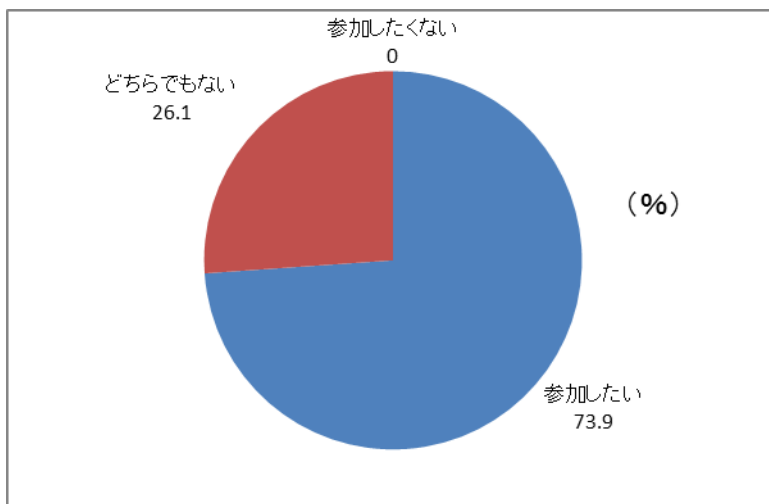
「理解できた」「やや理解できた」の合計が、78.3%であり、多数を占めた一方で、「理解できなかった」が、8.7%と、1割近くとなった。

Q7 . 自分が出した意見について、グループ内の意見として反映されましたか？



自分が出した意見についてグループ内意見として、「反映された」「少し反映された」の合計が、82.6%を占め、8割を超えた一方で、「まったく反映されなかった」が4.3%あった。

Q8 . 今後、公共施設に関する市民ワークショップが開催された場合、参加してみたいですか？



今後の公共施設に関する市民ワークショップについて、「参加したい」が7割を超え、「参加したくない」は、ゼロだった。

Q9 . その他、お気づきになった点をご記入ください。

市民ワークショップという形で、市民の意見を聴くことについて、肯定的な意見が多く出されたが、運営方法、体制についての指摘もあった。また、意見を聴くだけでなく、是非、実現して欲しいとの参加者の思いも寄せられた。その他、予算の都合等の課題があるが、本ワークショップの成果を基本設計に反映することについての期待の高さをうかがわせるものがあった。

また、市民協働ゾーンでは、デッキでの飲食店の実現や、運営方法についての意見があげられた。

- ・全体として時間が足りません。
- ・市民協働ゾーンの運営は、公設民営（市民活動団体、NPO）にしてください。
- ・市庁舎建設に向け、こういうかたちで市民の意見を聞くことはとても良いと思います。今後もこうしたかたちを進めてください。
- ・ワークショップに参加したのは初めてだったのですが、自分の意見を反映してもらえて嬉しかったです。5年後楽しみにしています。
- ・全国で類のない協働ゾーンには感謝したい。意見をききましたよで終わるのでなく是非、大きく反映を期待しています。
- ・飲食は、ウッドデッキ側での出店を希む。（浅草のような）
- ・越谷市の職員、対応はよかった。
- ・事前の準備、ワークショップの経験不足のためあまり意見がまとまらず発言ができなかった。
- ・スタッフの人数が多すぎる。
- ・私たちの意見が実りあるものとなりますように、期待しております。
- ・今回のワークショップが、基本設計にどう反映されるのか？良い意見、提案でも予算などの関係でボツになること懸念しております。少数意見でも検討いただきたい事項もあるのでお願いしたい。地下駐車場、老人が多いため温泉も是非ご検討御願ひします。
- ・世間から型だけと思われてもこのような workshop は、根気よく開催すべきと思います。
- ・今回のワークショップでは、意見が反映されない気がします。

編集・発行 : 越谷市

総務部庁舎管理課

〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号

TEL 048-964-2111(代表)